平成17年度（第49回）
岩手県教育研究発表会発表資料

社会／地歴・公民

中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する研究

－地域の将来を考える条例づくりをとおして－

平成18年1月12日
長期研修生
所属校　一関市立弥栄中学校
浅野始央

目　次

Ⅰ　研究目的----1

Ⅱ　研究仮説----1

Ⅲ　研究の内容と方法----1
1　研究の内容と方法----1
2　授業実践の対象----2

Ⅳ　研究結果の分析と考察----2
1　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想----2
(1)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本的な考え方--2
(2)　地方自治の学習の中で、地域の将来を考える条例づくりを体験させることの意義---3
(3)　地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた地方自治の学習の指導過程について--3
(4)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想図---3
2　手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察----3
(1)　実態調査計画----3
(2)　実態調査の分析と考察----5
3　基本構想に基づく手だての試案----6
(1)　手だての試案----6
(2)　検証計画----6
4　授業実践及び実践結果の分析と考察----6
(1)　地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた授業実践の概要----6
(2)　実践結果の分析と考察----11
ア　気付く力の育成状況----11
イ　分析する力の育成状況----12
ウ　意思を決定する力の育成状況----12
5　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する研究のまとめ---14
(1)　成果----14
(2)　課題----14

Ⅴ　研究のまとめと今後の課題----14
1　研究のまとめ----14
2　今後の課題----15

おわりに
【参考文献】
【補充資料】

Ⅰ　研究目的

中学校社会科公民的分野では、自ら追究し、解決しようとする態度、社会の変化に主体的に対応する能力、よりよい社会生活を実現しようとする態度を育成することが求められている。そのためには、現代の社会的事象について多面的・多角的に考察し、自分なりに考える力を育てていくことが大切である。

しかし、生徒の実態をみると、学習が、教科書の記述内容を覚えることに偏りがちで、実際の社会における様々な考えを理解したり、自分なりの考えをまとめて発表したりすることは苦手とする傾向がある。これは、公民的分野の授業が、知識を羅列的に扱う指導になりがちであったことと、現代の社会的事象を身近な事象との関連からとらえさせるという視点が欠けていたことで、生徒の興味・関心を喚起できず､自分にかかわる問題として考えさせられなかったためであると思われる。

このような状況を改善するためには、地域の将来を考える条例づくりのような、生徒が自分の生活と関連付けて考えやすい実際の居住地域の事象を取り上げることが大切である。そして、地域の時事的な課題を把握し、様々な観点から追究する過程の中で、現代の社会的事象について自分なりの考えをもつことができるような指導を工夫する必要がある。

そこで、この研究は、公民的分野の地方自治の学習の中で、地域の将来を考える条例づくりの体験をとおして、公民的分野における考える力を育てる学習指導の進め方を明らかにし、中学校社会科公民的分野の指導の改善に役立てようとするものである。

Ⅱ　研究仮説

中学校社会科の公民的分野の学習において､地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れて、地方自治の学習を次のように進めれば、現代の社会的事象について自分なりに考える力が育つであろう。

1　資料などから身近に生じている事実をとらえ、とらえた事実から疑問点や問題点を明らかにする。

2　生徒一人一人がテーマを決めて調べる活動を行い、調べて分かった事実や考えをまとめ、まとめたことを発表する。

3　自分が調べたことと他の生徒が調べたことを比較、関連して、より多くの事実や考えを理解する。

4　多くの事実や考えを踏まえた上で、地域の課題についての自分なりの解決策を考えて、「地域の将来を考える条例」を地域に提案する。

Ⅲ　研究の内容と方法

1　研究の内容と方法

(1)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想（文献法）

中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導についての基本的な考え方をまとめ、考える力を育てる学習指導について基本構想を立案する。

(2)　手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察（質問紙法）

公民的分野の学習に対する生徒の経験や学習指導の実態を調査し、その分析と考察を行い、問題点と要因を把握し、手だての試案の作成に役立てる。

(3)　地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた学習指導についての手だての試案

基本構想と実態調査の結果に基づき、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れて考える力を育てるための手だての試案を作成する。

(4)　授業実践及び実践結果の分析と考察（授業実践、テスト法）

手だての試案に基づき、地方自治の単元の中に、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた授業実践を行い、その分析をとおして、公民的分野における考える力の育成状況を考察する。

(5)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する研究のまとめ

実践結果の分析と考察に基づき、中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導についてまとめる。

２　授業実践の対象

一関市立弥栄中学校　第３学年（男子５名　女子８名　計13名）

Ⅳ　研究結果の分析と考察

１　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想

(1)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本的な考え方

公民的分野における考える力が育った生徒の姿を、現代の課題について、多くの事実や考えを踏まえた上で、自分なりの解決策を考えることができる生徒ととらえる。そして考える力の構成要素を【表１】のようにとらえ、研究を進めるものとする。

【表１】　公民的分野における考える力の構成要素と意味

構成要素	意　　味
気付く力	資料や自分の経験から身近に生じている事実をとらえ、そこから疑問点や問題点を明らかにすること
分析する力	調べたことを比較、関連して、より多くの事実や考えを理解すること
意思を決定する力	現代の課題について、自分なりの解決策を考えること

世の中で起こっている事象が自分の生活にどのようにかかわってくるかを考えることで、生徒は事象を身近な問題としてとらえ、そこから生じる疑問点や問題点について自発的に追究できるようになる。

しかし、自分が調べたいと思ったことを調べて終わる学習では、事象について一面的なとらえしかできない。事象について多面的・多角的にとらえるためには、調べて分かったことや考えたことをそのままで終わらせず、調べたことを基にして、さらに考える必要がある。そのためには、問題解決的な学習の過程において、事象について考える視点を明確にして追究活動を行い、事象から生じる一つ一つの事実を正確にとらえ、事実と事実を比べてその特色を考えたり、事実と事実をつなげて因果関係について考えたりすることが大切である。その際、自分の考えを基に、他の生徒との交流をとおして、新たな事実や考えにふれ、自分の考えを吟味・検討していくことが必要となる。

このような学習をすることによって、事象にかかわる疑問点や問題点について、より多くの事実や考えを踏まえて、自分なりの解決策を考えることができるようになると考える。

(2)　地方自治の学習の中で、地域の将来を考える条例づくりを体験させることの意義

本研究の実践対象となる生徒の住む一関市は、今年の９月20日に７市町村が合併をして新しい一関市となり、新たなまちづくりがスタートする。この機会に、合併問題に関心をもち、地域の将来のまちづくりを自分なりに考えて、その願いを条例という形にまとめることは、義務教育の最終年限にあたる生徒にとって、地域の一員として、また、将来を担う若者として極めて重要なことである。

新しい一関市の将来を考える条例をつくる学習は、その過程の中で、地方自治の基本的な考え方や仕組みを学ぶことができる。また、合併について、政治的な面や経済的な面から、そのメリットやデメリットを調べたり、住民や消費者などの立場の違いや世代の違いによる考え方の違いを調べたりすることによって、より多くの事実や考えを基にして、自分なりに考える力を育てることができる。このことから、地方自治の学習の中で地域の将来を考える条例づくりを体験させることは、「考える力」を育てるために意義があると考える。

(3)　地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた地方自治の学習の指導過程について

本研究での指導過程は大きく「つかむ」「追究する」「まとめる」の三つの段階とする。

ア　つかむ段階

この段階では、市町村合併について資料などから事実をとらえて、そこから生じた疑問や課題を基に、学習課題を設定する。そして、設定した学習課題を解決するための計画を立てる。

イ　追究する段階

この段階では自分の計画に従って調べ学習を行い、調べた結果をまとめて発表する。また、自分が調べたことと他の生徒が調べたことを比較、関連、総合して、より多くの事実や考えを理解する。

ウ　まとめる段階

この段階では、より多くの事実や考えに基づいて、地域の課題について自分なりの解決策を考えて、地域の将来を考える条例をつくり、地域に提案する。

(4)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想図

これまで述べてきたことを基に、中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想図を、４頁の【図１】のようにまとめた。

２　手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

(1)　実態調査の計画

ア　目的

この調査の目的は、社会科の学習と地域の課題に対する生徒の実態を把握し、地方自治の単元の中で、地域の将来を考える条例づくりを取り入れた学習指導についての手だての試案作成に必要な資料を得ることである。

イ　調査の対象

一関市立弥栄中学校　第３学年（男子５名　女子８名　計13名）

ウ　調査日時

平成17年７月25日（月）

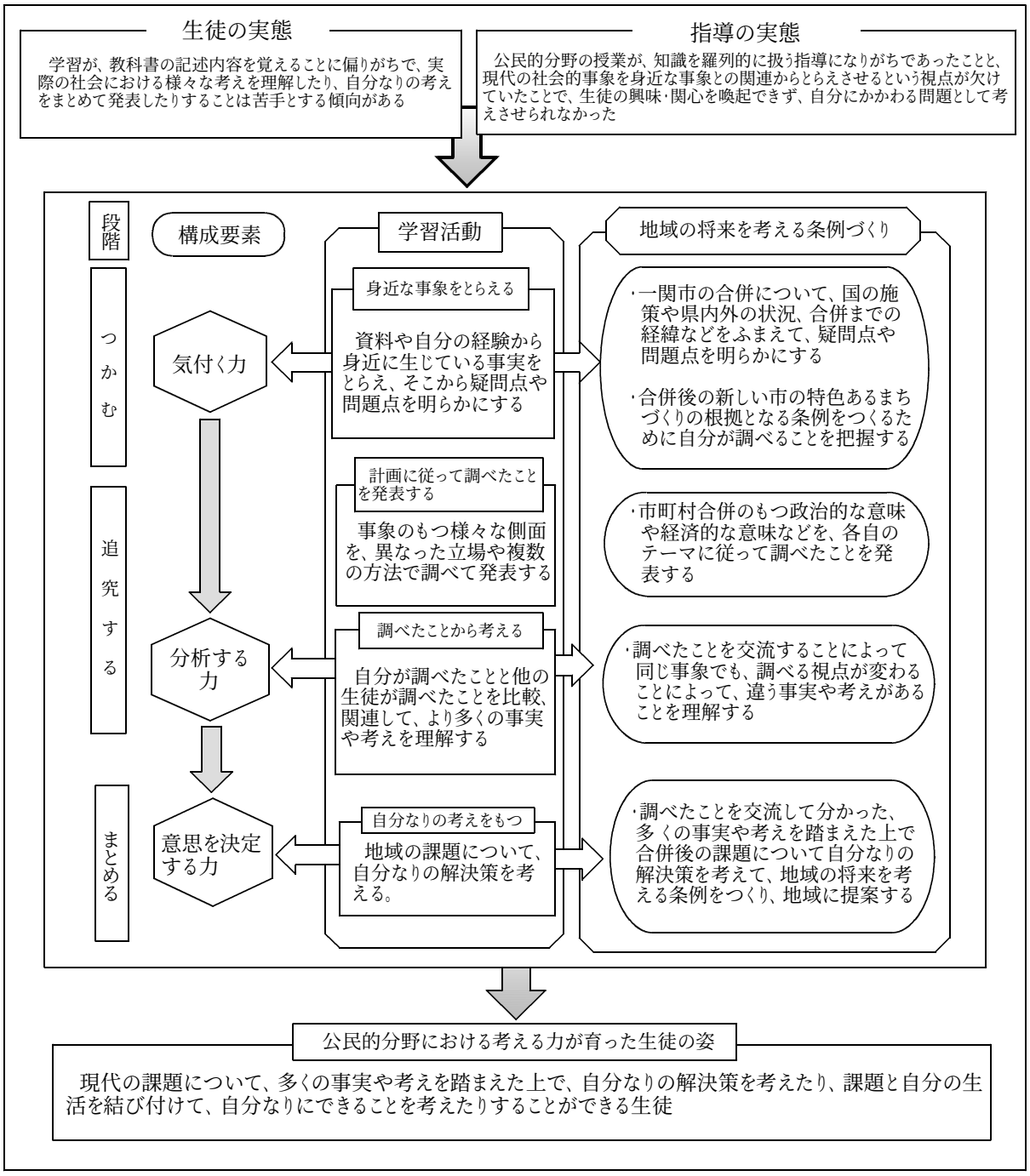
エ　調査と処理の方法

(ｱ)　研究者が先行研究や参考文献を基に作成した質問紙による調査を行う。

(ｲ)　自由記述による設問は、回答内容を分類し、分析・考察する。

オ　調査の内容

実態調査の観点及び設問の内容は、４頁の【表２】のとおりである。



【図1】中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想図

【表２】実態調査の具体的な観点と設問内容

設問	調査の観点	設問内容	手だてへの生かし方
1	調べ学習を行うことに関する実態	今までの調べ学習の中で苦労したことは何か	調べ学習の行う際の配慮事項の把握
2	一関市の合併について生徒がどの程度理解しているかの実態	一関市の合併によって良くなるところと悪くなるところは何か	調べ学習で個人テーマを決めるときの配慮事項の把握

(2)　実態調査の分析と考察

ア　結果から明らかになったこと

実態調査の結果は、【表３】にまとめたとおりである。

【表３】実態調査の結果

N＝１３（単位：人）

<table>
<tr><th>設問</th><th colspan="5">選択肢及び自由記述の回答（選択肢は複数回答）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">１　今までの調べ学習の中で苦労したことは何か</td><td>ア　6</td><td>イ　2</td><td>ウ　4</td><td>エ　1</td><td>オ　4</td></tr>
<tr><td>カ　6</td><td>キ　7</td><td>ク　4</td><td>ケ　6</td><td>コ　0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２　一関市の合併によって良くなるところと悪くなるところは何か</td><td colspan="5">良くなるところ（理由）
・市が安定する
・金が入る（まとまれば金を作れるから）
・人口が増える（人口が増えるとにぎやかになると思う）
・経済が豊かになる（経済が豊かになると、安定した市になると思うから）
・人が多く集まる（川崎村の花火とかがあるから）
・いろんな地域の観光名所がある市町村が合併することで、観光客が増え、市に金が入ると思う
・新一関市が大きくなる（大きくなれば、建物が増えるから）
・今以上に盛り上がると思う（他のところと合併することによって今より活気がすごくなると思う）
・大きくなり有名になる（岩手県のなかで大きいから有名→客が来る→儲かる）
・一関市のお金が増える（他の町のお金も入るのでいろんな公共施設が造れるから）
・選挙が大変になる（地域が広くなることでみんなが真剣に考えるんじゃないのかなあ）
・いろいろ学ぶことができること（今までよりも多くの人たちと行事をやり、交流の場が多くなると、いろいろなことを学べる）
・なし</td></tr>
<tr><td colspan="5">悪くなるところ（理由）
・議会がいくつかに割れ、まとまらない（今までの各市町村の議員の人からしぼられ、新しい議員の人によって議会が行われるけど、違う議会のやり方でやってきた議員の人はとまどい、抵抗が多くなるから）
・市の職員が減ること、特に臨時職員（失業者が出てきて、その人たちの未来が危ういから）
・過疎が進む（人が集まるところに郊外から人が来る。その人たちがいた地域の人が減る）
・学校の合併（一関市が合併することによって小さな学校同士が一緒になって、たぶん弥中がなくなるから嫌だ）
・中総体とか新人戦などの大会に影響すると思う（地区予選が今より大変になると思う。レベルが高くなるから）
・広すぎて場所が分かりづらい（どこがどこだか分からない）
・都市の所と田舎の所の差が激しくなる（差がつきすぎて大変）
・借金も増える（他の町の借金まで負担しなければいけないから）
・川崎村の花火大会がなくなること（一関より川崎の花火のほうが見応えがあるしきれいだから）</td></tr>
</table>

「注」　設問１の選択肢「アイウエオカキクケコ」は次のような内容である。

ア：調べるテーマを決めるまで時間がかかった。
イ：どのような方法で調べればいいか分からなかった。
ウ：本で調べようとしても、どこを見ればいいか分からなかった。
エ：インターネットで調べようとしても、どんな言葉を入れれば検索できるか分からなかった。
オ：調べたいことについて詳しい人から聞こうと思ったけれど、誰に聞けばいいか分からなかった。
カ：時間が足りなくて十分に調べられなかった。
キ：どのような方法でまとめればいいか分からなかった。
ク：時間が足りなくてまとめが終わらなかった。
ケ：まとめたことをうまく発表できなかった。
コ：その他

設問１についての結果から、調べ学習をするときに、時間の不足とまとめの方法で苦労するという傾向あることが分かる。したがって、テーマの決定、実際に調べる、調べたことをまとめるという各活動に際しては、それぞれの活動がスムーズに行えるように十分な配慮が必要である。

また、全設問の半数以上にあたる五つ以上について苦労したとしている生徒については、特に個別に支援をしていく必要がある。

設問２についての結果をみると、良くなるところまたは悪くなるところとして挙げていることが、合併することと直接関係のないものであったり、理由が曖昧であったりする生徒が多いことが分かる。したがって、市町村合併にかかわる基本的な事項については、あらかじめ学習しておく必要がある。

イ　手だての試案作成上の配慮事項

・テーマの決定に際して、市町村合併にかかわる事項をウェビング法を用いて関連付けることによって、調べることと調べる方法を明確にする。

・限られた時間で調べてまとめる活動を終わらせるために、生徒の学習の進行状況を確認し、遅れている生徒には調べ方やまとめ方などの支援を行う。

・生徒が調べたことをまとめるためのプリントを準備し､それを基に発表ができるようにする。

３　基本構想に基づく手だての試案

(1)　手だての試案

実態調査から明らかになった配慮事項に基づき、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた学習指導の手だての試案を、７頁の【図２】のように作成した。

(2)　検証計画

授業実践をとおして中学校社会科の公民的分野における考える力の育成状況をとらえ、その結果により手だての試案の有効性、仮説の妥当性について分析し、考察する。【表４】は検証内容と方法及び処理の方法を示したものである。８頁の【表５】は中学校社会科の公民的分野における考える力の育成状況を判断するための視点を示したものである。

【表４】検証計画

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
公民的分野における考える力の育成状況	・気付く力 ・意思を決定する力	・事前事後にテストを実施	・ｔ検定（平均点の差の検定）により結果を分析し、考察する
	・気付く力 ・分析する力 ・意思を決定する力	・学習シートへの記述内容の分析	・判断するための基準に基づき、学習シートへの記述内容について分析し、考察する

４　授業実践及び実践結果の分析と考察

(1)　地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた授業実践の概要

授業実践は一関市立弥栄中学校第３学年（男子５名　女子８名　計13名）を対象とし、平成17年９月１日から９月28日まで行った。

９頁、10頁の【資料１】は地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた授業実践の概要である。

段階	単元の指導過程	地域の将来を考える条例づくり	指導上の留意点・実態調査を受けての配慮事項
つかむ	1　現代の社会的事象と出会う 身近に生じている事実をつかむ 2　課題を設定する とらえた事実から疑問点や問題点をつかむ 3　学習計画を立てる	合併して新しい一関市となる市町村や新市の市勢の概要をつかむ 市町村合併についての疑問点や問題点をつかむ ・ウェビング法によってできあがった図を基に、自分が調べるテーマを決定する ・自分が調べるテーマについて、どのように調べればいいかをつかむ	市町村合併にかかわる国の施策、県内外の状況、一関市が合併に至るまでの経緯についても確認する 市町村合併から思い浮かぶことをウェビング法を用いて関連付けることによって、市町村合併を多面的・多角的に概観させる テーマを決められない生徒や調べ方が分からない生徒については、個別に支援する
追究する	4　計画に従って調べる 事象のもつ様々な側面を、異なった立場や複数の方法で調べて、まとめたことを発表する 5　調べたことから考える 自分が調べたことと他の生徒とが調べたことを比較、関連させて、より多くの事実や考えを理解する	・自分のテーマについて調べてまとめる ・まとめたことを他の生徒に分かってもらえるように発表する 自分が調べたことと、他の生徒が調べたことを比較、関連させることによって、一つの疑問点や問題点についても、視点や立場の違いによって、多くの事実や考えがあることを理解する	・学習の進行状況を把握し、遅れている生徒やまとめがうまくいかない生徒を支援する ・まとめと発表が効率的にできるように、まとめの様式を学習シートで示しておく 学習シートに、比較、関連させる視点を示しておく
まとめる	6　自分なりの考えをまとめる 7　地域に提案する	多くの事実や考えを基に、地域の課題について、自分なりの解決策を考え「地域の将来を考える条例」を完成させる 自分たちの作った条例を地域に提案する	条例の様式はあらかじめ定めておく 地域からの反応が得られるような提案の仕方を工夫する

【図２】地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた学習指導の手だての試案

【表５】中学校社会科の公民的分野における考える力の育成状況を判断するための基準

<table>
<tr><th rowspan="2">構成要素</th><th rowspan="2">判断項目</th><th rowspan="2">判断の観点</th><th colspan="3">判断するための基準及び記述例・キーワード</th></tr>
<tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th></tr>
<tr><td rowspan="2">気付く力</td><td rowspan="2">身近な事象をとらえることができる</td><td rowspan="2">資料や自分の経験から身近に生じている事実をとらえそこから疑問点や問題点を明らかにすることができるか</td><td>○一関市の合併についての疑問点や問題点を複数の側面または立場からとらえている
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が、二つ以上記述されている</td><td>○一関市の合併にいての疑問点や問題点を一つの側面または立場からとらえている
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が、少なくとも一つは記述されている</td><td>○一関市の合併についての疑問点や問題点をとらえることができない
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が記述されていない</td></tr>
<tr><td colspan="3">《キーワード》
○政治にかかわって
・市役所　・市長　・議員
・地域格差　・予算
○経済にかかわって
・商店街　・ショッピングセンター
・働く場所　・地域格差　・観光
○文化にかかわって
・伝統行事　・祭
○日常生活にかかわって
・学校　・高校　・学校に関する行事</td></tr>
<tr><td>分析する力</td><td>調べたことを基にして考えることができる</td><td>調べたことを比較、関連して、より多くの事実や考えを理解することができるか</td><td>○友だちが調べたことについて、
・理由を明らかにして自分の立場(賛成、反対）を明確にした記述がある
・新たな疑問点や自分の考えまで言及している
《記述例》
・～だから賛成
・～についても知りたい
・～のほうがいい
・●●にとってはいいかも知れないけど、△△にとってはどうなのかな
・●●のためには△△も必要だと思う</td><td>○友だちが調べたことについて、
・その内容を理解している
・自分の立場（賛成または反対）を明確にした記述がある
《記述例》
・私も～だと思う
・～に賛成（反対）</td><td>○友だちが調べたことについて、
・その内容は理解しているが、自分の立場（賛成または反対）を明確にした記述がない
《記述例》
・～がわかった</td></tr>
<tr><td rowspan="2">意思を決定する力</td><td rowspan="2">自分なりの考えをもつことができる</td><td rowspan="2">現代の課題について自分なりの解決策を考えることができるか</td><td>○条例に盛り込みたいことを以下の三つの項目について理由を明らかにしてまとめている
・行政に望むこと
・住民に望むこと
・自分にできること
○上の三つの項目のうち行政に望むことと住民に望むことについての理由が、市または市民全体の利益を考えたものになっている
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が、三つ以上記述されている</td><td>○条例に盛り込みたいことを以下の三つの項目について理由を明らかにしてまとめている
・行政に望むこと
・住民に望むこと
・自分にできること
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が、少なくとも一つは記述されている</td><td>○条例に盛り込みたいことを以下の三つの項目についてまとめているが、理由が明らかになっていない
・行政に望むこと
・住民に望むこと
・自分にできること
○三つの項目すべてについてまとめていない
○下に示したキーワードまたはそれに関連する語句が記述されていない</td></tr>
<tr><td colspan="3">《キーワード》
・市民の参加　・活性化　・関心　・文化　・伝統　・学校　・商店街
・少子高齢化　・環境　・福祉　・雇用　・観光　・借金</td></tr>
</table>

【資料１】授業実践の概要

段階 | 学習活動（教師と生徒または生徒同士のやりとり） | 学習の様子 | 構成要素 | 研究仮説にかかわる学習活動 | 学習の流れ

つ

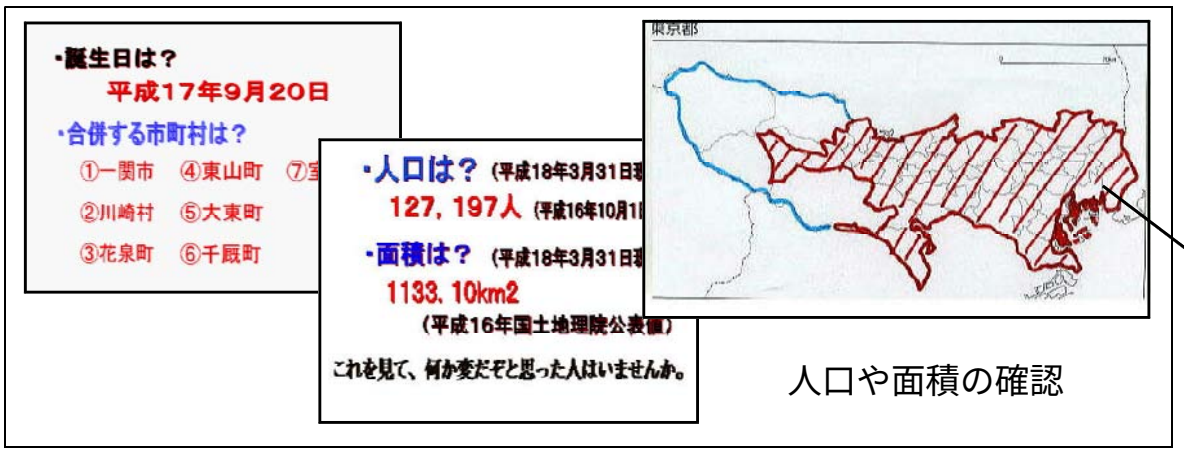
新一関市の市勢の概要をつかむ

3つの数字を確認しましょう。

- 平成11年3月31日　3, 232
- 平成17年8月1日　2, 337
- 平成18年3月31日　1, 822

T　次の３つの数字は何を示したものですか。分かった人は私のところまで来て耳元で答えをささやいてください。
C　山火事の数
C　死んだ人の数
C　少子化
C　郵便局の数
T　ヒントをあげます。単位は**一関**に関係あります。
C　市町村の数
（正解した生徒は２名）
T　では、どうして市町村の数が減少しているのでしょう。
C　**人口が減っているから**
C　市町村合併
C　**過疎化が進んでいるから**
C　**一関**もやってるじゃん（大きな声で）
（この発言の後、全員が正解した）

・大事なところをクイズにすることによって、生徒は楽しみながら考えることができた
・「一関」というキーワードによって生徒は自分の身のまわりに起こっていることを想起して正解を導き出すことができた
・市町村合併と無関係ではない「人口の減少」と「過疎化の進展」という発言があったが、時間の関係で取り上げることができず、地方のかかえる問題という視点から、市町村合併に迫る機会を生かせなかった



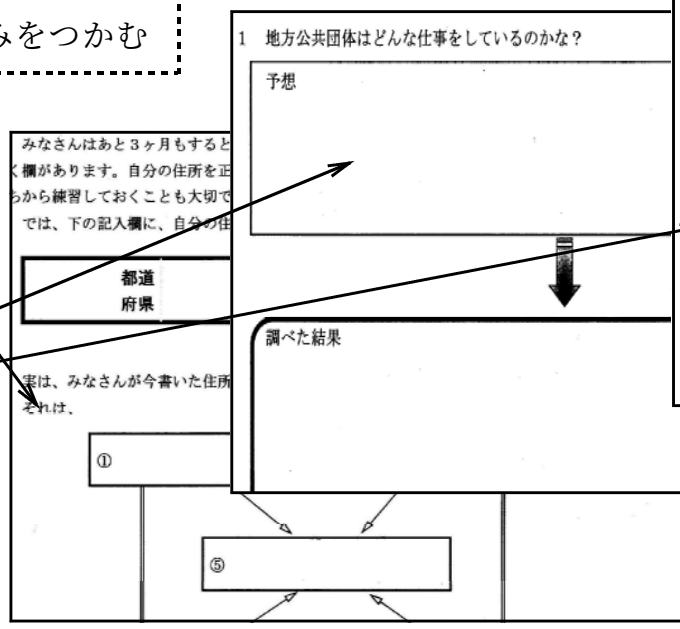
人口や面積の確認

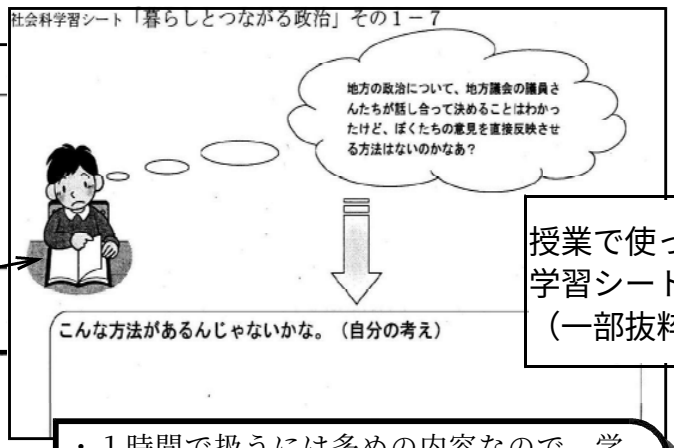
・新一関市の面積を、生徒が修学旅行で訪れた東京都と比べることで、その大きさを視覚的にとらえることができた。生徒は新一関市の大きさに驚きの表情を浮かべていた

地方自治の基本的なしくみをつかむ

- 地方公共団体
- 地方自治法
- 首長
- 地方議会
- 地方公共団体の仕事
- 直接請求権

すべての生徒に身に付けさせたい重要語句





授業で使った学習シート（一部抜粋）

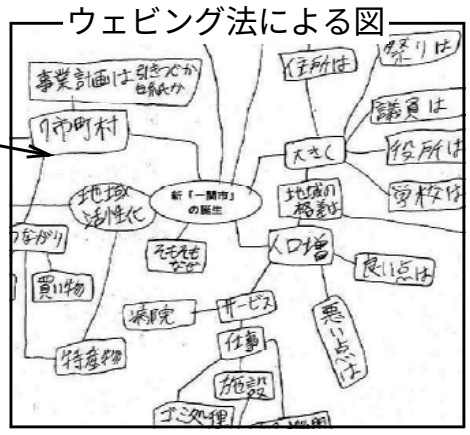
・１時間で扱うには多めの内容なので、学習シートにまとめる形で学習を進めた
・地方公共団体の仕事について、自分の生活と密接に関係していることを初めて知ったという生徒が多かった

か

一関市の合併について、疑問点や問題点を明らかにする　→　気付く力

1　ウェビング法を使って、一関市の合併について**多面的・多角的**に概観する
2　１をもとに、合併についての疑問点や問題点を、**各自が付箋紙に記入する**
3　付箋紙に記入したものをＫＪ法を用いて分類する。
4　３をもとに、調べ学習の**個人テーマを決定する**

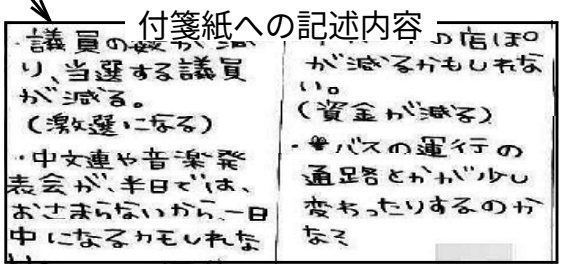
ウェビング法による図



個人テーマ（抜粋）

- **なぜ合併するのか**
- 新一関市が誕生して地域の活性化につながるのだろうか
- 一関市の借金
- 給食のセンター化について
- 新一関市の仕事

付箋紙への記述内容



・ウェビング法は生徒が慣れていないこともあって、最初は発言できずにいたが、教師が具体的な例をいくつか示すことによって活発に発言できるようになり、最後は黒板に書ききれないほどであった
・予め一関市の合併について概観したことで、生徒は合併についての疑問点や問題点を容易に書くことができた
・テーマの決定と調べる方法については個別に指導をした。これによって、生徒は見通しをもって学習に取り組むことができた
・調べ学習は原則として、個人でテーマを決めて行うこととしたが、一人では調べ学習が難しい生徒は、同じような疑問点や問題点を書いた生徒と一緒に調べ学習を進めることとした

む

1~3／8時間

段階	学習活動（教師と生徒または生徒同士のやりとり）	学習の様子	構成要素	研究仮説にかかわる学習活動	学習の流れ

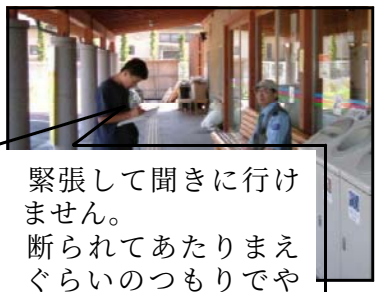
追究する　4~6／8時間

自分のテーマについて調べてまとめる

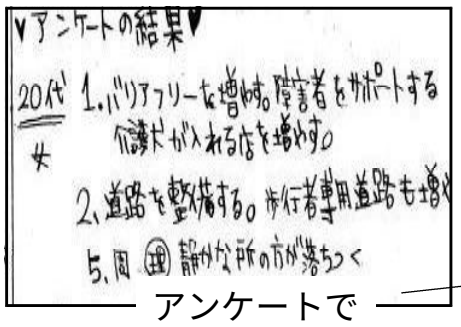
インターネットで

C　先生、探したけど見つかりません。
T　文章じゃなく、キーワードをスペースで区切って入れてみればいいかもよ。
C　これでいいですか。
T　やってみれば。
C　見つかりました、さすが先生。

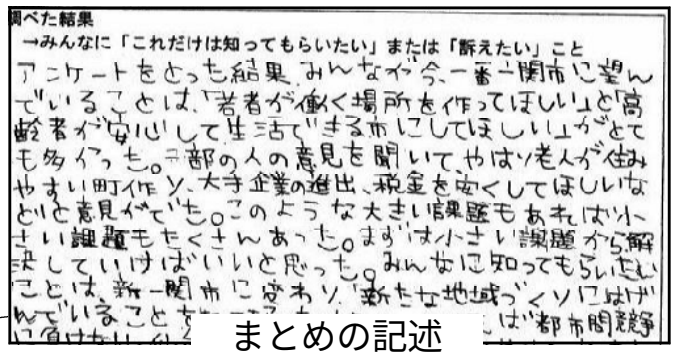
道の駅かわさきで
インタビュー



C　緊張して聞きに行けません。
T　断られてあたりまえぐらいのつもりでやりなさい。
C　頑張ります。



アンケートで

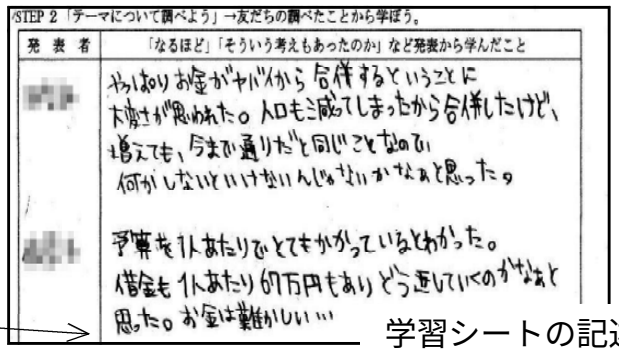


まとめの記述

- インターネットで検索に困っている生徒には、キーワードで検索するように支援した
- インタビューでは、快く答えてくれる人ばかりでなく、数を集めるのに苦労したようだが、終わった後は充実感を味わうことができたようだった
- アンケートは、主に生徒の家族を対象に行ったが、まじめに答えてくれたことに感激をしていた

発表を聞いて、分かったことや考えたことをまとめる　→　**分析する力**

1　各自が調べてまとめたこと（**「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」**こと）を発表する
2　発表を聞いて、**「なるほど」、「そういう考えもあったのか」**など、発表から学んだことを学習シートに記入する



学習シートの記述

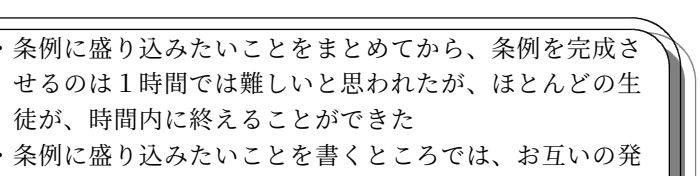
- 発表会は、生徒がまとめたものを印刷して、資料として配付してから行った
- 発表者は資料を読むために、聞く側も資料を見るために下を向いたままという状況で、発表会としての盛り上がりには欠けたが、発表が終わると同時に学習シートへ無言で記入する姿から、集中して学習に取り組んでいることが分かった
- 学習シートの中に、発表に対する自分の考えを書いている生徒もいて、学習に対する意欲の高さを感じることができた

まとめる　7~8／8時間

条例に盛り込みたいことをまとめ、条例を完成させる　→　**意思を決定する力**

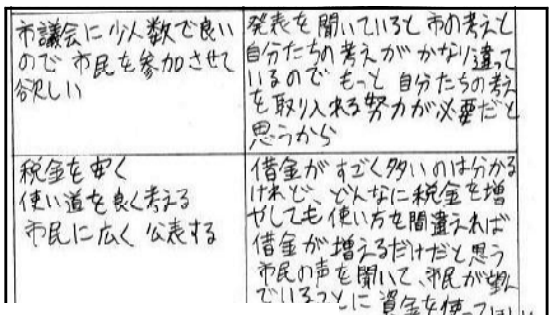
自分が調べたことや発表を聞いて分かったこと、考えたことを基に、条例に盛り込みたいことを学習シートにまとめる

定められた様式に、条例に盛り込みたいことをあてはめて、条例を完成させる



条例の記述（市民の役割）

- 条例に盛り込みたいことをまとめてから、条例を完成させるのは1時間では難しいと思われたが、ほとんどの生徒が、時間内に終えることができた
- 条例に盛り込みたいことを書くところでは、お互いの発表から学んだことがたくさんあったようで、書くことを楽しんでいるように見えた
- 条例にまとめるところでも、人に見てもらうということで、言葉を慎重に選んではいたが、何を書いたらいいのか分からずに困っている生徒はいなかった



生徒の記述（行政に望むこと）

作った条例の発表会を行い、互いに意見を交流をする

市は、市民の声をよく聞きます
市は、市民が安全に暮らせるようにします

市民の意見をよく聞きます、というのはとても大事なことだと思います

- 作った条例の発表会では、各発表者に対して多くの意見や感想が出され、お互いの頑張りを認め合っているようであった
- 条例づくりをとおして、地域に関心を持ち、自分も地域の一員であると改めて確認する良い機会になったようである

(2)　実践結果の分析と考察

ア　気付く力の育成状況

気付く力の育成状況をみるために、一関市の合併についての疑問点や問題点として生徒が記述したものを、８頁の【表５】の判断するための基準によって分析したものが、【表６】である。全員がＡという結果になった。

生徒の記述を、政治、経済、文化、日常生活の四つの側面で分類すると、四つの側面すべてについて記述している生徒はいなかったが、最低二つ以上の側面について記述することはできていた。さらに、政治と日常生活については、二つ以上の立場から記述している生徒が多かった。

キーワードの記述については、最も少なかった生徒でも四つ、最も多かった生徒で七つという結果であった。

生徒が記述した疑問点や問題点の数は、最も少なかった生徒が八つであった。

また、【表７】は、気付く力の育成状況について、ｔ検定の結果を表したものである。その結果、有意差が認められた。

このような成果がみられたのは、次のような理由によると考える。

手だてにかかわる実態調査の結果を受けて、ウェビング法を用いて一関市の合併を多面的・多角的に概観する学習を行った。これによって、生徒は一関市の合併について、疑問点や問題点を複数の側面や立場から示すことができたと考える。

また、生徒一人一人が考えた疑

【表６】生徒の記述を判断するための基準による気付くの育成状況

Ｎ＝13（単位:人）

Ａ	Ｂ	Ｃ
１３	０	０

キーワード	実際の記述
《政治》 ・市役所　４　・市長　３ ・議員　８　・予算　１ ・地域格差　１	・市役所はどうなるの ・議員の人数の配分はどうなるのか ・市の中心部に住む人とそうでない人との間で行政サービスに差がでないか ・道路整備のための予算が必要になる
《経済》 ・商店街　１ ・働く場所　１ ・ショッピングセンター　３ ・地域格差　０　・観光　１	・大町などの活性化はどうなるのか ・仕事を求めて人が中心部に人が集まるかもしれない ・大きなショッピングセンターはできるのか ・観光ガイドの問題
《文化》 ・伝統行事　０ ・祭り　５	・川崎の花火がなくなるかもしれない ・一関の祭りがもっと大きくにぎやかになる
《日常生活》 ・学校　７　・高校　３ ・学校に関する行事　12	・学校の統合は進むのか ・中総体は今までどおりなのか ・高校に入るのが大変になるだろう

「注」１　Ａ、Ｂ、Ｃの判断は、【表５】の基準により行った
　　２　キーワードのあとの数字は記述した人数（のべ）を表す

【表７】気付く力の育成状況

Ｎ＝13

検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	ｔ値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
気付く力	9.5	7.26	15.3	6.02	0.63	3.47	*

「注」１　事前テストは９月２日、事後テストは９月28日に実施した
　　２　設問は１問で、30点満点とした
　　３　有意差の欄にある＊は、ｔ検定において有意水準５％で有意差があることを示す
　　４　Ｎは総数を表す
　　５　ｔ検定（平均点の差の検定）に用いた公式は次のとおりである

$$t = \frac{\overline{X_2} - \overline{X_1}}{\sqrt{\frac{S_1^2 + S_2^2 - 2rS_1S_2}{n - 1}}}$$

なお、Ｘ１とＸ２は事前と事後テストの平均点、Ｓ１とＳ２は事前と事後テストの標準偏差、ｒは相関係数、ｎは人数を表す

問点や問題点をＫＪ法によって分類させたことで、生徒は身近な事象についての多面的・多角的な見方を再確認できたものと考える。

これらのことから、地域の将来を考える条例づくりの学習の中で、一関市の合併についての疑問点や問題点を考えることをとおして、気付く力が育成されたと考える。

イ　分析する力の育成状況

分析する力の育成状況をみるために、互いの発表から分かったことや考えたことについて生徒が記述したものを、８頁の【表５】の判断するための基準によって分析したものが【表８】である。特に、教師が指示をしたわけではないが、８人の生徒が、自分が賛成（反対）する理由を明らかにしたり、新たな疑問点や自分の考えまで言及したりすることができた。

このような成果がみられたのは、次のような理由によると考える。

つかむ段階での学習で、一関市の合併について、多くの疑問点や問題点を確認したことによって、互いのテーマに関心をもつとともに、それに対する自分の考えをもって発表を聞くことができたからであると考える。

【表８】分析する力にかかわる生徒の記述

Ｎ＝11（単位：人　２人欠席）

A	B	C
8	3	0

Aと判断した生徒の記述（抜粋）	Bと判断した生徒の記述（抜粋）
・仙台と盛岡の間の中核都市になれば、**一関で働く人が多くなるし、仕事も増えてもっと発展した都市になるので**良いことだと思った。**今の若い人が一関市に残ってくれたら良い**と思いました。これからは私たちが発展させていきたいです ・福祉に金をかけるのは賛成。レジャー施設を建てるのも賛成。**一関温泉郷っていわれるぐらいだから、もっと温泉を作ってほしい。そうすれば老人のためになるし、レジャーになるし、働ける人も多くなると思ったから** ・確かに今は若者が働けるところが少ない。**しかし、それは若者にも問題があると思う。それはすぐに辞めてしまうことだと思う** ・僕も災害に強いまちになってほしいです。**なぜなら、近々地震が起こるといわれているからです。**そして、死者やけが人をできるだけ減らしてほしいです ・中学校を給食にすると、**お母さんたちは助かると思うが、子供たちにとっては微妙です**	生徒１ ・大手企業の進出を望んでいる人がいること ・娯楽施設の建設はあまりよくない ・地域をきれいにするのも大切だと思います ・借金ってこんなに多かったのか 生徒２ ・やはり働く場所がほしいと思ったし、福祉の充実が大切だと思います ・もっとデパートを増やしてほしいです 生徒３ ・福祉についてみんな考えているんだなあと思いました ・合併すると隅々まで目の行き届かない部分があるんじゃないかなあと思いました

「注」１　A、B、Cの判断は、【表５】の基準に基づいて行った
　　２　注１の結果、Cとなる生徒は０人であった
　　３　表中の**太ゴシック**は、**理由、自分の考え**を示している

また、調べたことをまとめる際に、みんなに知ってもらいたいこと、または訴えたいことをはっきりさせるような学習シートを使ったことにより、要点を絞った発表ができたことも有効であったと考える。

これらのことから、地域の将来を考える条例づくりの学習の中で、自分が調べたことと、他の生徒が調べたことを比較、関連させることをとおして、分析する力が育成されたと考える。

ウ　意思を決定する力の育成状況

意思を決定する力の育成状況をみるために、条例に盛り込みたいこととして生徒が記述したものを、８頁の【表５】の判断するための基準によって分析したものが13頁の【表９】である。

生徒の記述には、市または市民全体のことを考えているものが多く見られた。生徒が、市または市民全体のことを考えるようになったことは、単元の学習終了後の感想に、「今まであまり考えることがなかった地方の政治を考えるよい機会だった」、「みんながせっかく調べたことなので、どうにかして市の役に立てたい」、「今まで一関のことに全然興味がなかったけれど、条例づくりをやっているうちに、ほんとに一関のことを考えることが楽しくなった」などの記述があったことか

らも読み取ることができる。

キーワードについては、すべての生徒が最低二つ以上記述することができた。

また、【表10】は意思を決定する力の育成状況について、ｔ検定の結果を表したものである。その結果、有意差が認められた。

さらに、６頁の実践の概要に示したように、つくった条例の発表会で、活発な意見交流が行われたことも、学習をとおして意思を決定する力が培われ、自分なりの考えをもつことができるようになったからであると考える。

このような成果がみられたのは、次のような理由によると考える。

条例に盛り込みたいことを考えさせるにあたって、追究する段階でまとめておいた、互いの発表から分かったことや考えたことを資料として使わせた。これによって、自分の調べた事実や自分の考えだけでなく、多くの事実や考えを基に、生徒は自分の考えをまとめやすくなったものと考える。

しかし、記述内容でＣと判断した生徒が１名いる。この生徒が完成させた条例には、住民に望むことも記述されていた。なぜこのような結果になったのかを推察すると、時間内に条例をつくるところまで終わらなかったことと、次時の学習内容が自分のつくった条例の発表であったので、条例を完成させることを優先させたためであると考える。したがって、教師が、学習の優先順位を明確に指示をしていれば、この生徒も条例に盛り込みたいことをすべての項目についてまとめることができたと考える。

【表９】意思を決定する力にかかわる生徒の記述

Ｎ＝10（単位：人　３名欠席）

A	B	C
9	0	1

Ａと判断した生徒の記述（抜粋）	Ｃと判断した生徒の記述（抜粋）
○行政に望むこと（理由） ・市議会に少人数でいいので、**市民を参加**させてほしい（発表を聞いていると、市の考えと市民の考えがかなり違っているので、もっと市民の考えを取り入れる必要があると思うから） ○住民に望むこと（理由） ・市の**活性化**に協力してほしい（市役所とかだけが**活性化**についてやるのではなくて、みんなのこれからにつながることだから、市の**活性化**に協力してほしい） ○自分にできること（理由） ・**観光地**を自分たちから勧める（友だちや親戚に**観光地**を勧めればそれが広がると思う。勧めるだけなら誰でもできるし、客の減少を止めることができると思う）	○行政に望むこと（理由は省略） ・**観光地**のパフレットを渡してほしい ○自分にできること ・将来を考える ※２つの項目についての記述と、「**観光**」というキーワードはあるが、「住民に望むこと」についての記述がない

「注」１　Ａ、Ｂ、Ｃの判断は【表５】の基準に基づいて行った
２　注１の結果、Ｂと判断した生徒は０人であった
３　表中の**太字ゴシック**は【表３】のキーワードを示している

【表10】意思を決定する力の育成状況

Ｎ＝13

検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	ｔ値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
意思を決定する力	4.3	2.29	7.2	1.79	0.71	6.31	*

「注」　１　事前テストは９月２日、事後テストは９月28日に実施した
２　設問は１問で、10点満点とした
３～５は【表７】と同じ

これらのことから、地域の将来を考える条例づくりの学習の中で、多くの事実や考えを基に、地域の課題について自分なりに考え、「地域の将来を考える条例」を完成させることによって、意思を決定する力が育成されたと考える。

5　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する研究のまとめ

これまで、手だての試案に基づく授業実践を行い、実践結果の分析と考察をとおして、その有効性を考えてきた。その結果から、成果と課題についてまとめる。

(1)　成果

ア　新聞や市の広報などで大きく取り上げられている一関市の合併という生徒にとって身近な事象を取り上げたことで、地方自治を自分にかかわる問題としてとらえて学習をすることができた。

イ　地域の将来を考える条例をつくるだけでなく、地域への発信を意識した学習を行うことによって、生徒の学習への意欲を高めることができた。

ウ　ウェビング法を用いて一関市の合併を多面的・多角的に概観したことが、合併についての疑問点や問題点を明らかにすることにつながり、「気付く力」を育成することができた。

エ　条例づくりの体験を行ったことで、インタビューや地域へのアンケートという調べ学習の新しい手法を身に付けさせることができた。また、調べたことを互いに発表し合い、それらを比較、関連することが、より多くの事実や考えを理解することにつながり、「分析する力」を育成することができた。

オ　より多くの事実や考えを基に、条例に盛り込みたいことをまとめて、地域の課題についての自分なりの解決策を考える学習をとおして、生徒は真剣に地域の将来について考えるようになり、「意思を決定する力」を育成することができた。

(2)　課題

ア　調べ学習で、アンケートの対象が生徒の家族だけであったり、インタビューした人数が一桁であったりしたために、多様な考えを集めることができたとは言い難い。もう少し時間をかけて調べ学習を行い、アンケートをとる範囲を広げたり、インタビューの人数を増やしたりできれば、より多くの考えにふれることができたと考える。また、インターネットで調べた生徒は、別の方法でも調べることで、多面的・多角的な見方を身に付けることができたと考えられる。

イ　条例づくりと地方自治の基本的な仕組みを分けて学習すると、地方自治の基本的な仕組みについて学習する時間が不足するため、条例をつくりながら、地方自治の基本的な仕組みが学習できるような指導過程を工夫する必要があると考える。

ウ　条例に盛り込みたいことをすべての項目についてまとめられない生徒が出たことは、指導計画に時間的余裕がなかったことが原因であると考える。このことの解決策として、教科の時間だけでなく選択教科の時間や総合的な学習の時間も含めて指導計画を立てることが有効であると考える。これによって、上記のアとイの課題も解決できると考える。

Ⅴ　研究のまとめと今後の課題

1　研究のまとめ

本研究は、公民的分野の地方自治の学習の中で、地域の将来を考える条例づくりの体験をとおして、公民的分野における考える力を育てる学習指導の進め方を明らかにし、中学校社会科公民的分野の指導の改善に役立てようとするものであった。その結果、仮説の妥当性を確かめることができた。なお、成果として確かめられたことは、次のとおりである。

(1)　中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導に関する基本構想

先行研究や文献を基に、中学校社会科の公民的分野の地方自治の学習の中に、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れることをとおして考える力を育てる学習指導の進め方を明らかにし、基本構想としてまとめることができた。

(2)　手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れるにあたって、社会科の学習と地域の課題に対する生徒の実態を把握するために、実態調査を行った。調査から明らかになったことを基に、手だての試案作成上の留意点をまとめることができた。

(3)　基本構想に基づく手だての試案の作成

基本構想と実態調査の結果に基づき、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れて考える力を育てるための手だての試案を作成することができた。

(4)　授業実践及び実践結果の分析と考察

手だての試案に基づき、地方自治の単元の中に、地域の将来を考える条例づくりの体験を取り入れた授業実践を行い、その分析をとおして、手だての試案が有効であったことが確かめられた。

(5)　中学校社会科の公民的分野おける考える力を育てる学習指導に関する研究のまとめ

中学校社会科の公民的分野における考える力を育てる学習指導について、成果と課題を明らかにすることができた。

２　今後の課題

本研究では、公民的分野の地方自治の単元に地域の将来を考える条例づくりの体験という身近な事象を取り上げることで、公民的分野における考える力を育てることについて実践的に明らかにすることができた。

今後は、公民的分野の他の単元や地理的分野、歴史的分野においても、身近な地域の事象を取り上げた学習指導の展開について研究を進め、考える力を育てていきたい。

おわりに

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさんに心から感謝申し上げ、結びのことばといたします。

【参考文献】

北尾倫彦（1999),『自ら学び考える力を育てる授業の実際』, 図書文化社

北尾倫彦・祇園全禄（2004),『中学校社会　新しい観点別評価問題集』, 図書文化社

星村平和（2003),『社会科教育へのアプローチ』, 現代教育社

補充資料

目　次

【補充資料１】　実態調査の調査紙----------資１

【補充資料２】　事前事後テスト----------資２

【補充資料３】　評価規準----------資４

【補充資料４】　単元の指導計画----------資６

【補充資料５】　学習指導略案----------資８

【補充資料６】　学習シート----------資10

【補充資料７】　個人テーマから条例に盛り込みたいことまでの一覧----------資21

【補充資料８】　生徒が作った条例一覧----------資31

【補充資料１】　実態調査の調査紙

社会科の学習についてのアンケート

3年A組　　番	氏名

このアンケートは、社会科の学習について皆さんがふだんどのように思っているかを知り、これからの学習に役立てるために行うものです。

成績にはまったく関係ありませんので、指示に従って自分の思ったとおりに答えてください。

1　小学校のときから今まで経験したいろいろな調べ学習（社会科の学習以外のものも含めて）を振り返ってみて、苦労したことは何ですか。あてはまるものをすべて選んで、その記号に○印をつけてください。

ア　調べるテーマを決めるまで時間がかかった。
イ　どのような方法で調べればいいか分からなかった。
ウ　本で調べようとしても、どこを見ればいいか分からなかった。
エ　インターネットで調べようとしても、どんな言葉を入れれば検索できるか分からなかった。
オ　調べたいことについて詳しい人から聞こうと思ったけれど、誰に聞けばいいか分からなかった。
カ　時間が足りなくて十分に調べられなかった。
キ　どのような方法でまとめればいいか分からなかった。
ク　時間が足りなくてまとめが終わらなかった。
ケ　まとめたことをうまく発表できなかった。
コ　その他

※「コ　その他」を選んだ人は、その内容を具体的に下の欄に書いてください。

2　一関市が合併することで、良くなると思うこととその理由、悪くなると思うこととその理由を、下の欄に書いてください。

良くなると思うこと	理由

悪くなると思うこと	理由

ご協力ありがとうございました。

【補充資料２】事前事後テスト

３年A組　　番　氏名

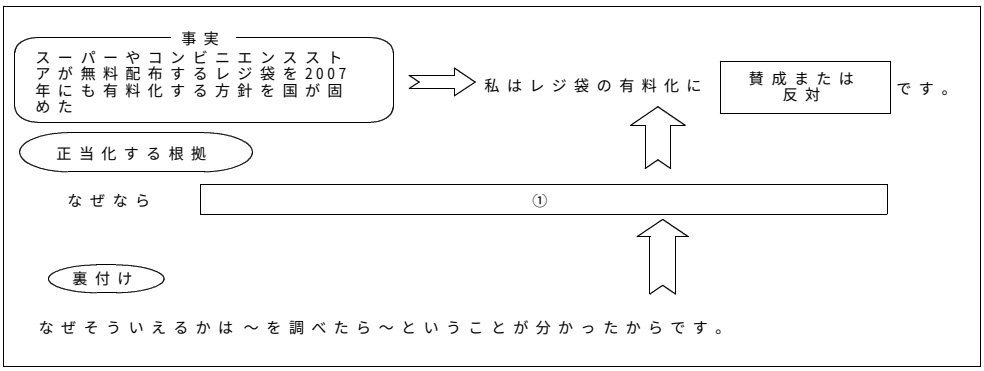
問１　あとの各問いに答えなさい。

次の新聞記事を読んで、自分たちもレジ袋の有料化について考えてみることになりました。また、下に示したものが、そのときに使った学習シートです。

レジ袋、有料化導入に是非　県内

スーパーやコンビニエンスストアが無料配布するレジ袋を2007年にも有料化する方針を国が固めたことを受け、県内の小売業や流通業が揺れている。ごみの減量化や原料となる原油の節約が期待される新制度だが、環境保全の立場から支持する声がある一方、制度自体や効果を疑問視する意見も根強い。レジ袋の価格設定や収益の使途などの詳細も確定しておらず、有料化をすべての店に徹底できるかも不透明で、消費者が納得する対応が求められている。

2005年７月19日　岩手日報



(1)　資料１は上の学習シートの①に生徒が書いたことをまとめたものです。

あなたはレジ袋の有料化に賛成ですか。それとも反対ですか。資料１の生徒の考えを参考にして、自分の考えを書きなさい。

資料１

生徒A：レジ袋を有料化することでゴミの量が減るのならとてもいいことだからです。。

生徒B：それに原油の節約することは、原油の大部分を輸入に頼っている日本にとっては重要なことだからです。

生徒C：ゴミの量が減らしたり、原油を節約したりすることは環境を守るために大切なことだからです。

生徒D：ゴミの量が節約できるといっても、ゴミ全体の量からすればレジ袋が占めるのはごくわずかな量だからです。

生徒E：レジ袋をつくるために使われる原油の量だって、日本全体の原油の消費量を考えればそれほど節約にならないからです。

生徒F：レジ袋の値段がいくらになるか分からないけど、家庭の負担が増えることは間違いがないからです。

生徒G：もしレジ袋を有料にしたことで店がもうけることになるなら納得いかないからです。

生徒H：私の家ではふだんから買い物用の袋を持ち歩いているので、レジ袋は受け取っていません。そうしないと家にたまってしまってもったいないからです。

生徒Ｉ：私の家ではコンビニを経営していますが、もしレジ袋が有料になったらお客さんがこなくなるのではないかと心配だからです。

生徒J：私の家ではレジ袋をゴミ袋にしたり、犬の散歩のときのフンの始末に使ったりしています。有料になると今までのように気軽に使えなくなるので困ります。私の家と同じようにレジ袋を有効に使っている人がたくさんいることが分かったからです。

参考にした生徒の考えを記号で記入する（いくつでも可）	
自分の考え	

問２　次のア～コのうち自分の生活に影響があると思うものの記号をすべて書きなさい。また、考えられる影響についてもすべて書きなさい。

ア　冷夏の影響で米が不作となった。
イ　アメリカで干ばつの影響でとうもろこしが不作となった。
ウ　産油国の油田で事故が起こり、輸入する原油の価格が上昇した。
エ　東京証券市場で株の価格が急激に下落した。
オ　市内に大手スーパーが進出した。
カ　国内の大企業の工場がすべて海外に移転した。
キ　一関市が合併する。
ク　中国の人たちの賃金が倍になった。
ケ　新幹線が一関に停車しなくなった。
コ　南極大陸の氷がすべて溶けた。

記号	考えられる影響

【補充資料３】　評価規準

単元の評価規準

	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
内容のまとまりごとの評価規準	国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている	国や地方公共団体の政治に関して、議会制民主主義や選挙の意義について多面的・多角的に考察し、民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している	国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている	地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治のしくみ、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解するとともに、公正な世論の形成と国民の政治参加の大切さに気付き、その知識を身に付けている
単元の評価規準	地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究することを通して、民主的な政治について考えようとしている	地方公共団体の政治に関して、自分の住む市町村に着目し、地方自治の意義について多面的・多角的に考察し、それを支える一人の住民として、民主的な政治の在り方について様々な考え方や立場から公正に判断している	地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、地方自治、とくに自分の住む市町村について追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている	地方自治の基本的な考え方、地方自治体の政治のしくみについて、自分の住む市町村の事例をもとに理解し、その知識を身に付けている
学習活動における評価規準	・一関市の政治に対する関心が高まっている ・自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方に基づいて一関市の合併について意欲的に追究している ・条例づくりをとおして、積極的に地域とかかわろうとする意欲が高まっている	・住民が主人公であるという地方自治の意義をとらえ、一関市の合併について多面的・多角的に考察している ・合併について、様々な事実や考えがあることを踏まえて、合併後の課題について自分なりの解決策や新しまちづくりのために自分にもできることを考察している	・一関市の合併に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、そこから学習に役立つものを適切に選択している ・自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方に基づいて、一関市の合併について追究し、考察した過程や結果をまとめている ・自分の考えを地域の将来を考える条例としてまとめている	・地方自治は住民参加による住民自治が基本であること、また、その政治は首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解しその知識を身に付けている ・地方自治の意義を生かすためには、地方分権が必要なことを理解しそれにかかわる知識を身に付けている

学習の段階ごとの評価規準

	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
つかむ段階	・自分たちの住んでいる一関市への関心が高まり、地域の課題である市町村合併を調べることへの意欲が高まっている	・市町村合併についての様々な資料や自分の経験から、一関市の合併についての疑問点や問題点を考察している ・疑問点や問題点を解決する方法を考察している	・一関市の合併について調べることや調べる方法をつかんでいる	・地方自治は住民参加による住民自治が基本であることを理解し、その知識を身に付けている ・地方自治体の政治が、首長と議会の二つの機関を中心に行われていることを理解し、その知識を身に付けている ・住民の意思を地方自治体の政治に反映させるために、直接請求権や住民投票の権利が認められていることを理解し、その知識を身に付けている ・地方公共団体独自の政策の根拠となるものが条例であることを理解し、その知識を身に付けている
追究する段階	・合併を自分とのかかわりでとらえて、一関市の合併について意欲的に追究している	・住民が主人公であるという　地方自治の意義をとらえ、自分のテーマについて考察している ・他の生徒の発表と自分の調べたことを比較、関連して、多面的・多角的に考察している	・一関市の合併に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、そこから学習に役立つものを適切に選択している ・追究し考察した結果をわかりやすくまとめて発表している	・多面的・多角的な考察をすることによって、より多くの事実や考えを理解している
まとめる段階	・条例づくりをとおして積極的に地域とかかわろうとする意欲が高まっている	・合併について、様々な事実や考えがあるということを　踏まえて、合併後の課題について自分なりの解決策や新しいまちづくりのために　自分にもできることを考察している	・自分の考えを地域の将来を考える条例としてまとめている	・地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治のしくみについて一関市の事例をもとに理解し、その知識を身に付けている ・地方自治の意義を生かすためには地方分権が必要なことを理解し、その知識を身に付けている

【補充資料４】　単元の指導計画

段階	時数	学習内容	・指導上の留意点　△主な評価の観点 ●構成要素とのかかわり
つかむ	1	○新一関市の市勢の概要をつかむ	・スライドを使う ・学習シートにまとめさせる ・合併までの経緯については深入りしない △自分たちの住んでいる一関市への関心が高まり、地域の課題である市町村合併を調べることへの意欲が高まっている（関心・意欲・態度）
	1	○地方自治の基本的なしくみをつかむ	・地方自治は生活に密着していることに気付かせる ・学習シートにまとめさせる ・団体自治の根拠となるものが条例であり、条例の制定を住民が求めることができることを理解させる △住民の意思を地方自治体の政治に反映させるために、直接請求権や住民投票の権利が認められていることを理解し、その知識を身に付けている（知識・理解）
	1	○一関市の合併について、疑問点や問題点を明らかにする	●ウェビング法を使って、一関市の合併について多面的・多角的に概観させる ●ウェビング法によって作ったかかわり図をもとに、合併についての疑問点や問題点を明らかにし、自分が調べるテーマを決定させる ・個人テーマと調べる方法の決定については、個別に支援する △市町村合併についての様々な資料や自分の経験から、一関市の合併についての疑問点や問題点を考察している（思考・判断） △一関市の合併について調べることや調べる方法をつかんでいる（資料活用の技能・表現）
追究する	2	○自分のテーマについて調べてまとめる	・学習の進行状況を把握し、遅れている生徒を支援する ・学習に役立ちそうなサイトをあらかじめ把握しておく ・調べたことを記入する学習シートとまとめるための学習シートを準備しておく △合併を自分とのかかわりでとらえて、一関市の合併について意欲的に追究している（関心・意欲・態度）

追究する	1	○発表を聞いて、わかったことと考えたことをまとめる	△一関市の合併に関する資料を様々な手段を活用して収集し、そこから役立つものを適切に選択している（資料活用の技能・表現） ・生徒がまとめたものを印刷して、事前に配布しておく ●発表を聞いて、「なるほど」、「そういう考えもあったのか」など、発表から学んだことを学習シートに記入させる △他の生徒の発表と自分の調べたことを比較、関連して、多面的・多角的に考察している（思考・判断） △多面的・多角的な考察をとおして、一関市の合併について、より多くの事実や考えを理解している（知識・理解）
まとめる	1	○条例に盛り込みたいことをまとめ、条例を完成させる	●自分が調べたことや発表を聞いてわかったこと、考えたことをもとに、条例に盛り込みたいことをまとめさせる ●条例に盛り込みたいことを基に、条例を完成させる ・条例の様式はあらかじめ定めておく △条例づくりをとおして、積極的に地域とかかわろうとする意欲が高まっている（関心・意欲・態度） △様々な考えや事実をもとに、合併後の課題についての自分なりの解決策などを考察している(思考・判断) △自分の考えを、地域の将来を考える条例としてまとめている（技能・表現）
	1	○作った条例の発表会を行い、互いに意見を交流する	・生徒の作った条例を印刷して、事前に配布しておく ・意見交流は、互いの考えを認め合う場となるようにさせる
		○作った条例を地域に提案する	・行政へ提案する場合は、事前の打ち合わせや生徒の指導を十分に行う

【補充資料５】　学習指導略案

単元の段　階	学習活動・内容	指導上の留意点
つかむ	第１時 新一関市の市勢の概要をつかむ	
	・合併する市町村 ・合併後の面積と人口 } 学習シートにまとめる	・スライド（教師の自作）を使う ・クイズを取り入れる } 興味・関心を高める ・地図上で、東京都の面積と新一関市の面積を比べる　→　視覚的に理解させる ・合併までの経緯については、ふれる程度とし、深入りはしない ・国の施策について、簡単に説明する
	第２時 地方自治の基本的なしくみをつかむ	
	・地方公共団体 ・首長 ・地方公共団体の仕事 ・地方議会 ・条例 ・直接請求権 } 学習シートにまとめる	・「地方公共団体」は自分の住所から気付かせる ・「地方公共団体」の仕事は、市の仕事を中心に考えさせる } 地方自治は生活に密着していることに気付かせる ・住民の意思を地方公共団体の政治に反映させるための根拠となるものが条例であり、条例の制定を住民が求めることができることを理解させる ・学習シートは、生徒が考えながらまとめられるように工夫する
	新しい一関市の将来への願いを込めて条例を作ろう	
	第３時 一関市の合併について、疑問点や問題点を明らかにする	
	1　ウェビング法を使って、一関市の合併について多面的・多角的に概観する 2　１をもとに、合併についての疑問点や問題点を、各自が付箋紙に記入する 3　付箋紙に記入したものをＫＪ法を用いて分類する 4　３をもとに、調べ学習の個人テーマを決定する	・お互いの発言を笑ったり、馬鹿にしたりしないように事前に指導しておく ・生徒はウェビング法に慣れていないので、最初は教師が例を示す ・ＫＪ法で分類することによって、多面的・多角的な見方を再確認する ・個人テーマと調べる方法の決定は、個別に支援する
追究する	第４時～第５時 自分のテーマについて調べてまとめる	
	1　計画に従って調べる ・インターネット ・電話 ・アンケート ・インタビュー　など	・学習の進行状況を把握し、遅れている生徒を支援する ・校外に出て調べる生徒には、交通安全についての指導を行う ・電話のかけ方の指導をしておく

追究する		・インターネットを使う生徒には、ネチケットや検索の仕方を指導しておく ・学習に役立ちそうなサイトを予め教師が把握しておく
	2　調べたことをまとめる ・学習シートにまとめる	・調べたことをすべて記入しておく学習シートと「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」ことをまとめる学習シートを準備しておく
	第６時 発表を聞いて、わかったこと考えたことをまとめる	
	1　各自が調べてまとめたこと（「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」こと）を発表する 2　発表を聞いて、「なるほど」、「そういう考えもあったのか」など、発表から学んだことを学習シートに記入する	・生徒がまとめたものを印刷して、事前に配布しておく ・発表の聞き方は事前に指導しておく
まとめる	第７時 条例に盛り込みたいことをまとめ、条例を完成させる	
	1　自分が調べたことや発表を聞いてわかったこと、考えたことをもとに、条例に盛り込みたいことを学習シートにまとめる 2　条例に盛り込みたいことをもとに、条例を完成させる	・条例に盛り込みたいことは、「行政に望むこと」、「住民に望むこと」、「自分にできること」の三つについてまとめさせる ・条例の様式は、予め定めておく
	第８時 作った条例の発表会を行い、互いに意見を交流する	
	・自分の作った条例を発表する ・友だちの作った条例についての、意見を発表する	・生徒の作った条例を印刷し、事前に配布しておく ・意見交流は、お互いの考えを認め合う場となるように配慮する
	作った条例を地域に提案する	
	・文化祭での展示 ・市役所へ提出	・行政へ提案する際は、事前の打ち合わせや生徒の指導を十分に行う

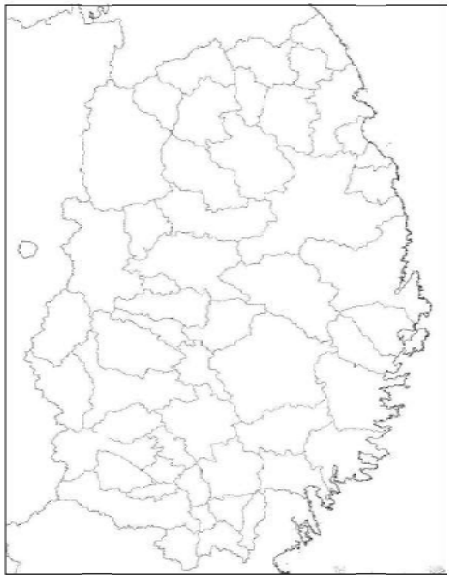
社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－１

１　私たちの住む一関市は平成 17 年 □ 月 □ 日に合併をして、新「一関市」としてスタートします。

２　合併する市町村を、下の□に記入しよう。

一関市		

下の地図に着色しよう。

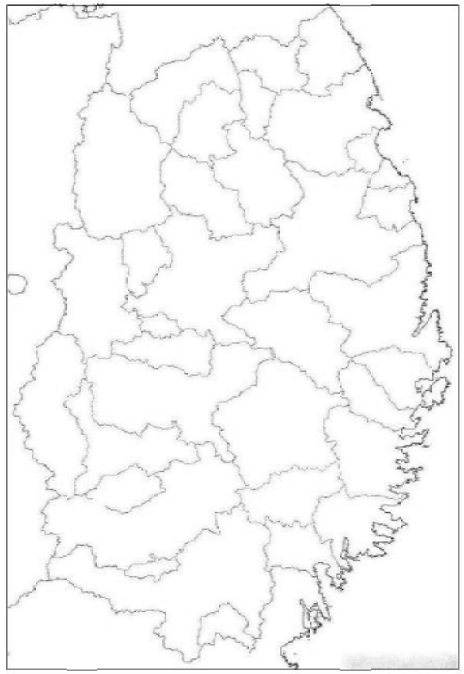


社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－２

３　県内の他の市町村の合併はどうなっているのかな？

下の地図を見て、合併した市町村に着色しよう。（もちろん一関市も）

⟹ ヒントは、その１－１ですよ。



４　新しい一関市の面積や人口はどうなるのかな？

	合併前	合併後
面積（km2）		
人口（人） ※千人未満は四捨五入		

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－３

５　合併後の一関市の面積や人口は、岩手県の中でどのような位置になるのかな？下の表を埋めてみよう。

県内市町村の面積（上位10市町村）

平成18年10月1日　　平成18年3月31日現在

	市町村名	面積(km2)
1	岩泉町	992.90
2	遠野市	550.38
3	千石町	509.01
4	川井村	563.07
5	盛岡市	489.15
6	安代町	460.24
7	釜石市	441.31
8	北上市	407.55
9	葛巻町	434.99
10	一関市	410.23

	市町村名	面積(km2)
1		1133.10
2		993.35
3	岩泉町	992.90
4		908.32
5		886.47
6		862.25
7		825.52
8		696.92
9		623.14
10	千石町	609.01

県内市町村の人口の状況（上位10市町村）

平成18年10月1日現在　　平成18年3月31日現在

	市町村名	人口(人)
1	盛岡市	297,972
2	北上市	93,009
3	花巻市	72,924
4	一関市	53,041
5	水沢市	50,889
6	滝沢村	53,224
7	宮古市	52,795
8	大船渡市	43,680
9	釜石市	43,905
10	久慈市	35,259

	市町村名	人口(人)
1		301,674
2		131,465
3		127,197
4		100,185
5	北上市	93,009
6		85,992
7	滝沢村	53,224
8	大船渡市	43,688
9	釜石市	43,805
10		39,457

平成18年10月1日現在の人口をもとに作成

表は「岩手県勢要覧」より作成

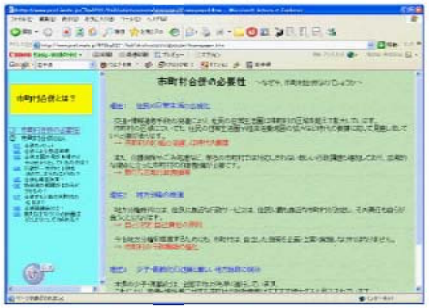
一関市はすぐにわかりますね。それ以外のところは、その１－２の地図と地図帳を参考にするといいかも知れませんよ。

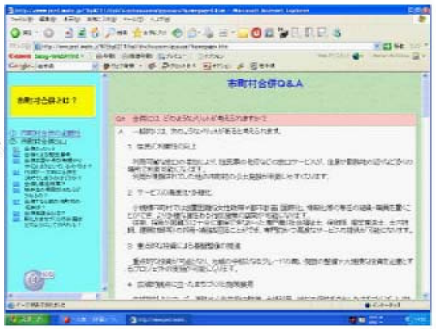
６　その１－２にもどって、着色した市町村に名前を書き込みましょう。

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－４

僕たちが住む一関市が、合併して大きな市になることは分かったけど、どうして今こんなに市町村合併が進んでいるのかなあ？

というわけで、インターネットで岩手県のホームページで調べてみました。そうしたら、次のようなページを見つけました。





ホームページに書いてあることは、ちょっぴり難しいので、内容を理解するために、最初に地方の政治について、基本的なことを学習しましょう。

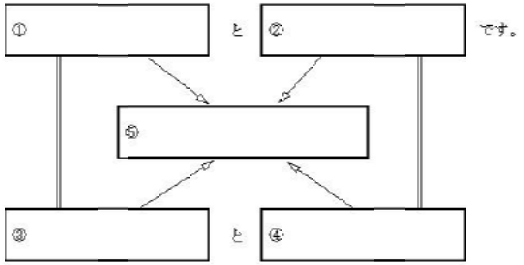
社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－５

みなさんはあと３ヶ月もすると、高校の入学願書を書くことになります。その中に、必ず住所を書く欄があります。自分の住所を正確に書けなくて担任の先生におこられることのないように、今のうちから練習しておくことも大切です。

では、下の記入欄に、自分の住所を書いてください。

都道府県	市	

実は、みなさんが今書いた住所の中に、地方の政治を行っているところが、ふたつあります。それは、



次に、下の表を順番に埋めていくことにしましょう。

①の長は誰ですか。名前を書いてください。	
②の長は誰ですか。名前を書いてください。	
③の長を何といいますか。	
④の長を何といいますか。	
⑤の長を何といいますか。	

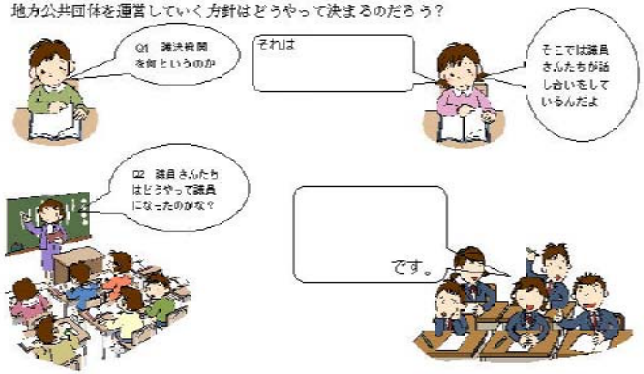
社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－６

１　地方公共団体はどんな仕事をしているのかな？

予想

調べた結果

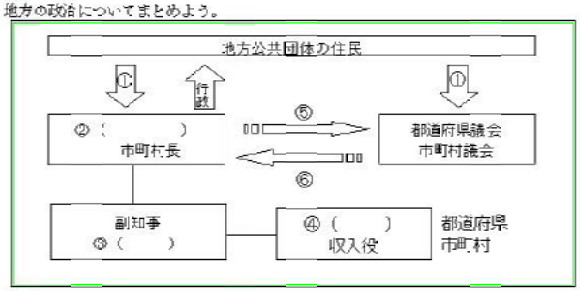
２　地方公共団体を運営していく方針はどうやって決まるのだろう？



3　議会で決められることってどんなこと？

とは？

4　地方の政治についてまとめよう。



上の図の①～⑥にあてはまる語句を記入しよう。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－７

こんな方法があるんじゃないかな。（自分の考え）

なるほどそういう方法もあるのか。（友だちの考えを聞いて）

こうやってぼくたちの考えを地方の政治に反映させよう。（自分の考え）

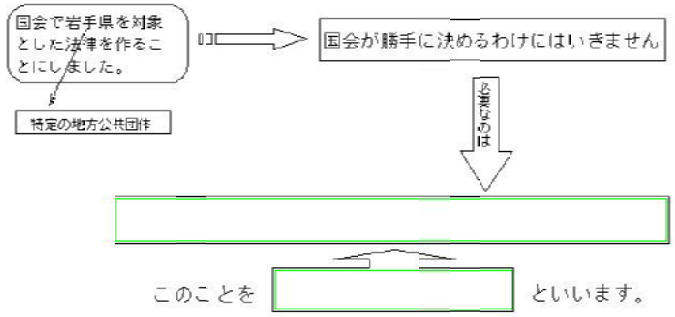
社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その１－８

住民の権利についてまとめよう。

1　下の表を完成させよう。

請求の種類	必要な署名	請求先	請求後の取り扱い
			議会を招集し、結果を報告する
		監査委員	監査を実施して、その結果を公表する
			_____を行い、 _____の賛成があれば解散する
		選挙管理委員会	_____を行い、 _____の賛成があれば解散する

2　下の図を完成させよう。



社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－１

●思い出してください

住民の意思を地方の政治に反映させるために認められている権利は何でしたか。

●もっと思い出してください

地方の政治の独自性を発揮するための根拠となるものは何でしたか。

●では、考えてください

新しい一関市の「まちづくり」に
- わたしたち住民も参加したい。
- 具体的には私たちの願いを取り入れて欲しい。
- そうすれば、他の市町村とに違う特徴あるまちづくりができると思う。

さあ、どうすればいいでしょう

自分の考え

友だちの考え

改めて、さあどうすればいいでしょう

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－２

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 1「個人テーマを決めよう」→合併についてのかかわり図をつくろう

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－３

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 1「個人テーマを決めよう」→かかわり図をもとに個人テーマを決めよう

テーマ：

設定の理由

どんな方法で調べるのか

調べる前に予想を立ててみよう

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－４

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 2「テーマについて調べよう」→調べてわかったことを書こう。

調べてわかったことを書き込もう
→とにかく何でも書き留めておこう。整理するのは後から。

※　書ききれなくなったら、ノートを使おう。

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－５

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 2「テーマについて調べよう」→調べたことをまとめよう。

テーマ

調べた方法

苦労したこと

調べた結果
→みんなに「これだけは知ってもらいたい」または「訴えたい」こと

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－６

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP２「テーマについて調べよう」→友だちの調べたことから学ぼう。

発　表　者	「なるほど」「そういう考えもあったのか」など発表から学んだこと

STEP２「テーマについて調べよう」→友だちの調べたことから学ぼう。

発　表　者	「なるほど」「そういう考えもあったのか」など発表から学んだこと

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－７

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 4「地域の将来を考えた条例をまとめよう」→条例に盛り込みたいことをまとめよう。

行 政 に 望 む こ と	なぜそのように考えたのか（参考にした友だちの考えなど）

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－７

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 4「地域の将来を考えた条例をまとめよう」→条例に盛り込みたいことをまとめよう。

住 民 に 望 む こ と	なぜそのように考えたのか（参考にした友だちの考えなど）

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－７

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 4「地域の将来を考えた条例をまとめよう」→条例に盛り込みたいことをまとめよう。

地域の将来のために、今私たちにできること（やらなければならないこと）	なぜそのように考えたのか（参考にした友だちの考えなど）

社会科学習シート「暮らしとつながる政治」その２－７

－地域の将来を考える条例をつくろう－

STEP 5「地域の将来を考えた条例をまとめよう。→実際に条例をつくろう。
みんなの作る条例は、次のような様式になります。

新しくスタートする

一関市のまちづくりのための条例

前文

平成17年９月20日に両磐地区の７市町村が合併して新・一関市がスタートしました。
私たちは地域の将来を担う若者として、地域のことについて真剣に考える責任があります。今回の市町村合併はその良い機会となりました。
私たちは、新・一関市が

自分の願いを書きます。

という「まち」であって欲しいという願いを持っています。そして、それを実現するためにはどんなことが必要かをまじめにまじめに考え、それを条例という形にまとめて地域のみなさんに提案したいと思います。

（目的）
第１条　この条例は、ここに同じ内容を入れます。まちづくりを推進することを目的とします。

（基本原則）
第２条　第１条の目的を実現するために、次のようなまちづくりの基本原則を掲げます。
(1)　まちづくりは、
(2)　まちづくりは、
(3)　まちづくりは、
(4)　まちづくりは、
(5)　まちづくりは、

ここには、自分の「願い」を実現するために、大切（必要）だと思うことを書きます。必ず５つ書かなければいけないということではありません。
例えば　・自然環境を大切にして
・市民の意見を取り入れて
・地域の文化を大切にして
などが考えられますね。

進めます。

（市民の役割）
第３条　市民は、まちづくりの主役としての意識を持ち、まちづくりの活動に積極的に参加します。
(1)　わたしたち市民は、
(2)　わたしたち市民は、

ここには、市民としてまちづくりのために心がけておかなければならないことを書きます。最低2つは書けるといいですね。

します。

（市の役割）

第４条　市は、市民が市の政治に関心を持ち、まちづくりに積極的に参加するできるように努めます。

（1）　市は、［　ここには、まちづくりのために市に努力して欲しいことを書きます。　］します。

（2）　市は、［最低２つは書けるといいですね。］します。

（市議会の役割）

第５条　議会は、市の意思決定機関として、市民に開かれた議会運営に努めます。

（1）　市議会は、［　ここには、まちづくりのために市議会に努力して欲しいこと］します。

（2）　市議会は、［を書きます。最低２つは書けるといいですね。］します。

付記

1　新・一関市のまちづくりのために私にできること。

ここには、新しい市のために自分にもできること、自分がやるべきことを決意を含めて書きます。
できるだけたくさん書けるといいですね。

2　私の要望

ここには、これまでの学習で学んだことを踏まえて、市の政治についての要望を具体的に書きます。
いろいろな視点や立場から考えて書けるといいですね。

- 21 -

【補充資料７】個人テーマから条例に盛り込みたいことまでの一覧

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと	
1	・市役所はどうなるのか ・道路の案内標識はどうなるのか ・市会議員の人数の配分はどうなるのか ・祭りなどの行事はどうなるのか ・市のマークはどうなるのか ・市の花、鳥、木はどうなるのか ・公共施設の提携はどうなるのか ・中総体などの参加学校数はどうなるのか ・教科書は統一されるのか ・住所の表示はどうなるのか	市のマーク・花・鳥・木から調べる	県民手帳、インターネット	・新しい市の花、鳥、木が何になるか分からないけど、決まったら大切にしてほしい	A	・大手企業の進出を望んでいる人がいること。 ・仙台ー盛岡間の中核都市を創造することは大変だろうなあ。 ・若者が働く場所が必要だから大手企業が必要なのかな。	行政に望むこと	・大手企業の進出を増やす。（一関市が発展するために一関市のものも取り入れてほしい） ・道路やデパートの建設。（交通手段を増やしてほしい。ダイエーがなくなって、サティーしかないのでほしい） ・観光地のパンフレットを渡してほしい。（学校などで配布物として渡す。回覧板などで回す）
					B	・切磋琢磨するかどうかは一人一人の心の持ちよう。 ・一関（旧）の中学校が6校になること。		
					C	・良くなる点で少子化の改善というが、多いところは多く、少ないところは少ないままなのでは。 ・娯楽施設の建設はあまり良くない。 ・ストレスも増えるのかな。 ・やっぱり雇用の問題も大変だなあ。		
					D	・働く場所を増やしすぎると働く人が減って大変じゃないかな。 ・今後どうなっていくか予想することも大切。	住民に望むこと	
					E	・地域をきれいにするのも大切だと思います。 ・道路やデパートに多くの費用が必要だと思います。 ・私も静かなところに住みたい。・地域をきれいにするのも大切だと思います。		
					F	・地域の食材を使用するのは大切だと思う。 ・中学校は弁当のほうがいいと思う。		
					G	・今放送中の大河ドラマ「義経」の影響で観光客が増えるといいと思います。 ・学校の配布物や回覧板などで紹介して欲しい。	自分にできること	・将来を考える（働く場所が増えても、働けなかったらしょうがない）
					H	・市の拡大によって、地域の伝統や文化が無くなってしまうので何とか抑えたい。 ・資金や財政も大変だろう。		
					I	・借金ってこんなにあったのか。 ・家族が多い方が大変だなあ。 ・お金のまわりも大変だなあ。		
					J	・私は一関でリサイクル率が高いとは思っていませんでした。		
2	・大きなショッピングセンターはできるのか ・合併したら条例も変わるのか ・入試で一関（旧）に人があつまるんじゃないか ・中総体は今までどおりなのか ・市議会はどこでやるのか ・人が中心部に集まるのか ・市役所はどうなるのか ・教科書が変わるのか ・学校の統合は進むのか	新一関市に望むこと	道の駅かわさきでインタビュー	・今は就職難といわれている時代なので、もっと働く場所を増やして欲しいと思う。 ・市で金をかけて欲しいのは、アンケートの結果、「福祉」と意見が多かった。アンケートをとったのが高齢者が多かったので、今後のことを考えて「福祉」と言ったのではないかと思う。新一関市では、老人ホームや養護施設をもっと増やして、老人が長生きできるようにしてほしい。	A	・やはり働く場所がほしいと思ったし、福祉の充実が大切だと思います	行政に望むこと	欠席
					B	・小さい学校が残った方がいいと思います。一人一人に目が いって学力が上がるとおもいます		
					C	・楽しむところも少し増やしてほしいです		
					D		住民に望むこと	
					E	・もっとデパートを増やしてほしいです ・働く場所がほしいと思いました		
					F	・小学校の給食を中学校に持ってきてほしいです		
					G	・もっと人も集めてほしいと思いました	自分にできること	
					H	・やっぱり今のままじゃもたないのかなあと思いました ・サービスがなくなるのかなあと思いました		
					I	・市で借金をした分は、市でしっかり払ってほしいと思う		
					J			

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと		条例に盛り込みたいこと	
					発表者			
3	・住所の表示はどうなるのか ・高校の学区はどうなるのか ・教科書はかわるのか ・市役所の人事はどうなるのか ・観光ガイド問題 ・市の中で過疎、過密の問題は起きないか ・人口の問題 ・中総体は今までどおりなのか ・大町などの活性化はどうなるのか ・サティーやジャスコを近くに建てろ ・一関スタジアムを建ててくれ ・案内標識はどうなるのか	新一関市が誕生して、地域の活性化につながるのだろうか			A B C D E F G H I J	欠席	行政に望むこと 住民に望むこと 自分にできること	欠席
4	・市の中での過疎と過密の問題 ・市の中心部に住む人とそうでない人との間で行政サービスに差がでないか ・自民党が選挙で圧勝したので、なくなる郵便局がでてくるのでは ・一関の高校に入る人が増えるかもしれない ・仕事を求めて中心部に人が集まるかもしれない ・中総体、新人戦の予選は学校の数が大幅に増えるかもしれない ・合併して面積が大きくなると自動車の交通量が増えるかもしれない ・道路の整備のために予算が必要 ・仕事に就けない人が増えるかもしれない ・県大会への出場がさらに難しい	新一関市の仕事	インターネット、道の駅かわさきでインタビュー	・良くなる点として、公共事業や財政、市の活性化、人口の増加などがあがった。 ・少子化の改善、景気の回復などを期待する声が多かった。 ・悪くなる点として、隅々まで目が行き届かない、税金が高くなる、部活動、学校統合などがあがった。 ・広くなることで生じる問題でも、サービスやお金の問題への関心が高いことがわかった。 ・今後、市に望むサービスは、介護・福祉の充実、雇用確保、環境整備、娯楽施設を作るなどがあがった。 ・高齢化社会や就職難、ストレスなどの問題の解決を望んでいることがわかった。 ・自分の親戚にも介護の必要な人がいるので、福祉の充実に力を入れて取り組んで欲しい。 ・自分たちの将来に影響する雇用の問題が改善されると良いと思う	A	・仙台ー盛岡間の中核都市になるのは時間がかかるけど、なったら一層発展すると思う。	行政に望むこと	・福祉に力を入れて取り組む。養護施設や老人ホーム、デイサービスなどの充実。（インタビュー、アンケートを見ても一番多かったし、高齢化社会と言われているので、今、すごく必要になっていると思うから） ・市議会に少人数でいいので、市民を参加させてほしい。（発表を聞いていると、市の考えと自分たちの考えがかなり違っているので、もっと自分たちの考えを取り入れる努力が必要だと思うから。） ・税金を安く。使い途をよく考える。市民に広く公表する。（借金がすごく多いのはわかるけれど、どんなに税金を増やしても使い方を間違えれば借金が増えるだけだと思う。市民の声を聞いて、市民が望んでいることに資金をつかってほしい） ・雇用拡大、大手企業誘致（仕事をしたくてもできない人がまだまだ多いので、市も取り組んでほしい。企業を数多く誘致すれば若者が残り市が発展し、財政が良くなりそう）
					B	・多少小さくても個人の能力が存分に出せるならそのままでも良いと思う。		
					D	・福祉の他に環境整備などもして欲しい。ゴミが落ちているから。		
					E	・デパートだけでなく大規模な企業を誘致してもよいと思う。	住民に望むこと	・高齢者に優しくする。（一関市はまだ高齢者が過ごしやすい環境が整っていないので、まわりの人が支えてあげることが必要だと思う） ・市の政治に関心を持つ。（市の政治に文句をつけるだけでなく、対策などを自分たちで考えるくらいの心構えが必要だと思う。税金のことも、政治を知らなければ公表されてもわからないから） ・やる気をもつ（特に若い人が）。（バイトばかりでなく、一つの職に力を入れてやることが必要だと思う。転職ばかりでは企業もこないと思う）
					F	・自分も給食センターは嫌だなあと思う。弥栄小学校で作ってもらって中学校に持ってくることに賛成です。それが一番良いと思う。		
					G	・一関市はもっとPRしたほうが良い（イベントやCMなど）。合併して有名なところが増えたので、その点では良い。PRする金が無いなら市長の給料を減らせ。		
					H	・小泉は郵政とかより地方の住民のことをもっと考えるべき。金が無いなら議員の給料減らせ。	自分にできること	・思いやりを持つ、日頃から親切に。（高齢者は日常生活でも大変なこともあると思うので手伝ったりする） ・新聞、テレビ、広報などを毎日チェック。（毎日、新聞を読んだりするだけでも知識を増やせる。情報収集力も身に付く） ・進路学習（就職難と言われているので、自分たちの進路にもある程度見通しを立てる必要があると思う）
					I	・最近の首長たちは善良な一般市民に負担をかけすぎだと思う。自分たちの財産から出しやがれと言いたい。		
					K	・市の木や花などがダブっていたりしていて予想外だった。		
					J	・自分もゴミを減らす努力をしたいと思う。		

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと
5	・各部の競争率が高くなる ・試合など移動がたいへんだ ・中総体や陸上大会、音楽発表会はどうなるの ・一関以外の地区の案内板が変わり、その地区の店に被害がある ・市が広すぎて道路など直す箇所が多くなる ・広報「いちのせき」はなくなるの？ ・小中学校の統合が進むと思う ・今までより議員の数が減ると思う	新一関市に望むこと	道の駅かわさきでインタビュー	・今は就職難といわれている時代なので、もっと働く場所を増やして欲しいと思う。 ・市で金をかけて欲しいのは、アンケートの結果、「福祉」と意見が多かった。アンケートをとったのが高齢者が多かったので、今後のこと を考えて「福祉」と言ったのではないかと思う。新一関市では、老人ホームや養護施設をもっと増やして、老人が長生きできるようにして欲しい。	A	・アンケートをとおして考えたこと、思ったこと、自分なりの考えをしっかり書いていた。 ・自分も若者に限らずみんなが働く場所を作って、この一関市を豊かにして欲しい。	行政に望むこと ・働く場所を増やしてほしい。（働く場所を増やして、市民全体が活性化して、豊かになってほしい） ・店を増やしてほしい（店を増やせば、そこで働く人も増えるし、地域が活性化できるから） ・あまり借金をしないでほしい。（市の未来にかかっているし、借金は年々上がってきているので、このままいけば、借金はすごい額になると思う） ・環境をよくしてほしい。（市を活性化するのはいいが、ゴミがそれであふれたり木が減ったりして、合併していやだったと思いたくないから）
					B	・中学校はもう卒業してしまうが、母校がなくなるのは悲しいので、できるだけこの中学校を残して欲しいです。	
					C	・合併して良いこと、悪いことがまだはっきりしていないので、そこに注目して生活していきたいです。	
					E	・僕も近くにデパートなど大きな店を建てて欲しいです。しかし、この辺の環境を壊さずに活性化させて欲しいです。また、道路を整備するのはいいが、環境に注意してやって欲しい。	住民に望むこと ・働こうとする気持ちをもってほしい。（今は働かずに「ニート」を呼ばれる人たちが増えているので、そういう人も働ける職場をもっと増やせば、この一関市は豊かになると思う） ・ゴミを増やさないでできるだけリサイクルしてほしい。（ゴミを増やすとCo2の排出が増えたり、金属など燃えない物は埋め立てられるので、環境が壊されるのでできるだけゴミは少なくしてほしい）
					F	・給食はその土地でとれたものを使って安心のできる給食を作って欲しい。 ・中学校を給食にすると、お母さんたちは助かると思うが、子どもたちにとっては微妙です。	
					G	・観光地をもっと増やして、観光客を増やして、活気あるまちにして欲しいです。そして、市民が豊かになって欲しい。	
					H	・なぜ合併するのかわかったし、僕も災害に強いまちになって欲しいです。なぜなら、近々自身が起きるといわれているからです。そうして、死者やけが人をできるだけ減らして欲しいです。	自分にできること ・働く。（今はまだできないけど、高校卒業したら、しっかりと働いて市の役に立てるようになりたい） ・環境を大切にする。（今の環境を少しでも壊さないように心がけたいです）
					I	・今の一関市は借金がたくさんあると思った。一人67万円とは多すぎて、今後どんどん増えていったら、この市にはいられなくなるので、できるだけ将来減らして欲しいです。	
					K	・これからの一関市の木や鳥、花がとても気になるので、早くそれを知りたい。	
					J	・ゴミ問題は、これからの一関市にとっても、とても大切な問題なので、この説明を聞いて、ゴミのことがよくわかった。	

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと
6	・各地区の議員さんたちはどこで集まったりするのか ・大きすぎていろいろ大変だと思う ・新一関市になって予算はどうなるのか ・交通機関はどうなるの ・学校の統合はどうなるの ・高校に入るのは大変になるだろう ・市長を決めるのが大変になると思う ・建物が新しくなったり壊されたりするのか ・今まで続いてきた各市町村のお祭りや花火などはどうなるのか	今後一関市をどう発展していくか	インターネット、アンケート、他の地域を参考にする	・アンケートをとった結果、みんなが一番望んでいることは、「若者が働く場所を作って欲しい」と高齢者が安心して生活できる市にして欲しい」ということだった。そのほかには大手企業の進出、税金をやすくして欲しいなどの意見もあった 　他にも小さな課題がたくさんあった。まずは小さな課題から解決していけばいいと思った。 ・みんなに知って欲しいことは、新一関市になって、新たな地域づくりに励んでいることを知ってもらいたいとおもった。例えば、都市間競争に負けない仙台・盛岡間の中核都市の創造など。 ・私も、今若者が職に就くのが大変になっているので、若者が働く場所を作って欲しいと思う。	B	・一関市（旧）の中学校が6校になるんだと思った。確かに小さい学校だとお互いライバルだと思う人が少ないけど、大きいからといって、本当に切磋琢磨できるのだろうかと思った。 ・チャンスの場は、小さい学校のほうがあると思った。	行政に望むこと ・安心して暮らせる市にしてほしい。（やっぱり一番は安心してこの一関市に住みたいと思うから） ・税金をもっと安くしてほしい。（みんなのアンケートでも安くしてほしいという声があったから） ・隅から隅まで目が行き届く市にしてほしい。（まずは私たち市民のことをしっかりと考えてほしい） ・高齢者が安心して暮らせる市にしてほしい。（私たちにとって安心できるかもしれないけど、高齢者の人たちのことも考えてほしいから）
					C	・市が広くなるだけで税金もどんどん高くなっていくんだと思った。 ・私も将来のために少子化の改善についてしっかり話し合った方がいいと思った	
					D	・私もレジャー施設があって欲しいと思った。レジャー施設があればとても便利でいいと思った。 ・今もだけどこれからはもっともっと働くのが大変になってきて、私の時代は大変だと思った。	
					E	・一関にも地域づくりの団体があるのをはじめて知った。市町村との交流はどんなことをやっていくのだろう。 ・私も駅にはデパートができて欲しい。前まであった千葉久やダイエーが次々と閉店してしまって、駅周辺がとても静かになったと思う。	住民に望むこと ・みんなも市のために福祉活動の協力する。（みんなが協力してくれたらいい環境になっていくんじゃないかと思った） ・各行時に参加する。（参加することによって交流が深まる） ・ポイ捨てはしない。（私が学校に登校するときに目につくのがポイ捨てしてあったゴミだから、ゴミ箱に捨てるとかすれば市が汚れずにすむと思う） ・市の活性化に協力する。（市役所とかだけが活性化についてやるのではなく、もっとみんなもこれからにつながることだから、市の活性化に協力してほしいと思う）
					F	・私は中学校の給食は給食センターから運んでくると冷めると思うし、その分味が落ちるからもっと近いところで作って欲しいと思う。近いところで作れ我みんなの意見を取り入れられると思うし、温かくておいしい給食が食べられるからいいと思いました。	
					G	・パンフレットは私もみんなに配った方が観光客がたくさん来ると思うし、わからないところはパンフレットを見るとすぐわかるからいいと思った。観光客が増えると一関市が活性化すると思う。	
					H	・やっぱり市町村が多いと、国で負担するお金が多く、合併すると今までのようにお金がかからないからそこはいいと思った。 ・私も、この市に住んで幸せだなあと思える市にして欲しい。	自分にできること ・一関市の地域づくりに協力する。各行事に参加し、一関市内の人たちと交流する。（私たちにできることといったら、小さなことぐらいしかないから、まずは身近なところからと思った） ・各行事に参加し、一関市内の人たちと交流する。（一関市の行事に参加すれば、交流することができるし、そのことが活性化につながっていくと思う） ・みんなが住みやすい環境作りをする。（例えばゴミを拾っただけでも地域がきれいになっていく） ・高齢者への気配り。（やっぱり高齢者の人たちにバスの席を譲るだけでもいい市ができていくと思う）
					I	・私は給料から1万円ずつはとっても大変だと思った。 ・私たちが生活するのにお金がたくさんかかっているなあと思いました。	
					J	・私も新一関市に変わってもっともっとゴミが増え続けると思った。これ以上ゴミが増えたら大変なことになると思う。	

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと	
7	・大会の時に学校が増えると今までより時間がかかると思う ・バスのバス停とか電車の駅とかはどうなるのか ・音楽発表会などの行事はどこでやるのか ・電話帳が新しくなるのかな ・市町村長の人は今後どうなるのかな ・今までの役場はどうなるのか ・市役所に用があるとき大変だと思う ・家の住所が変わるので、表札をかえたりするのが大変だと思う	なぜ合併するのか	インターネット、アンケート	・合併が進められているのは、これから各市町村の人口が減ることと、国からくるお金が少なくなって、各市町村の運営が大変になるから。 ・今は地方でいろいろな仕事をするのに規模が小さいと大変。 ・これからは、今までの地域づくりを大事にして、みんながよかった、幸せといえる町にしていきたいそうです。 ・私は安心して暮らせる町になればいいと思うし、他には災害に強い町になって欲しいという50代以上の人の意見が多くあった。 ・40代に多かったのは経費の削減や財政が楽になるという意見もありました。 ・住民へのサービスが行き渡らなくなるという意見が一番多く、私が思ったのは、今まであった地域の伝統行事がなくならなければいいと思った。	A	・今の若者が職に就くのが難しいから若者が仕事をできるところ作って欲しいと私も思った。また、今は高齢化社会だからこの意見に賛成だ。	行政に望むこと	・介護や福祉を充実してほしい。〔今、高齢化社会なのでお年寄りがもっと長生きできるようにしてほしいし、そういう施設を建ててほしいと思った〕 ・若者が働く場を作ってほしい。〔今若者が職に就けないから働ける場所を作ってほしいと思う〕 ・道路の整備やデパートなどの施設を作ってほしい。〔道路を整備したり、デパートなどの施設を作れば、周辺部が活性化すると思うし、今まで以上に活気があふれると思うし、そうすることによって若者も職に就けるからいいと思う〕 ・少子化の改善〔もう少し教育にお金をかければ子どもを生む人が増えると思うし、子どもを気軽に生める制度を作ってほしい〕 ・学校を統合しないでほしい。〔市だけで決めるのではなく学校側や子ども、親の意見を聞いてから決めた方がいいし、人数が少ない方が一人一人にいろいろなチャンスが回ってきていいと思うし、授業なども受けやすいと思う〕 ・安心して暮らせる町にしてほしい。〔災害などに強くて、住民へのサービスが行き渡っていれば、住民が幸せに暮らせ、安心して住めると思う〕
					B	・この意見には賛成だが、私は今のままの学校でいいと思います。だって、小さい学校のほうが、一人一人がいつも目立っていていいと思います。高校に行ったらあまり自分が前に出るところがなくなるからです。私は統合には反対です。		
					C	・市の活性化などよい点はたくさんあるけど、私も福祉がもう少し充実すると良いと思います。また、これから就職の問題を解決して欲しい。		
					D	・私も賛成で、施設ができれば就職する人も増えるからいいと思うし、他にもっと福祉にかかわるところができればいいと思います。	住民に望むこと	・ボランティア活動に積極的に参加してもらいたい。〔ゴミ拾いなどをすれば地域のためになるし、みんなが気持ちよく過ごせるから〕 ・お金を使うのを減らす。〔新一関市はたくさんの借金をかかえていて、今のままだと借金が増えていくから、住民一人一人がお金を大切にすればもっと楽になると思う〕
					E	・私ももっとデパートができればいいと思うが、デパートを作ったらお金もかかるし、以前ジャスコを建てる計画も中途半端になったから、デパートを建てることになっても心配です。		
					F	・私はセンター給食に反対です。だって、弥栄で作った物を食べた方がおいしいし、あまりお金がかからないと思うからです。		
					G	・私も観光客は減ってきていると思います。平泉とかだったら観光に来ていると思うし、もっとTVとかのCMでやればたくさんの人が来ると思う。	自分にできること	・ボランティア活動に積極的に参加する。〔ゴミを拾ったりすれば地域がきれいになって住みやすいし、身近にできると思ったから〕
					K	・今まで市のマークなどに全然興味がなかったからか、発表を聞いてわかったので良かった。どうしてそのマークに決まったかを知りたい。		
					I	・1ヶ月に1万円ずつ返すのはちょっと無理があると思ったし、借金が880億円もあって、何年かかっても返せないんじゃないかと思いました。		
					J	・ゴミが増えることはわかったけど、他にも詳しく知りたかった。 リサイクルが増えているのはいいが、お金がかかると思った。		

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと	
8	・議会の人は人数が増えるの？ ・広すぎて役所などへの移動がたいへん ・中心地をもっと活性化させる ・中総体や新人戦はどうなる ・学校はどうなる ・なぜ7つの市町村が合併したのか ・住所は変わるのか ・高校や小中学校が合併したりする ・人口が増える	地域を活性化するには	インターネット、アンケート、他の地域を参考にする	・地域づくりは、行事や特産物だけでなく、ゴミ拾いやボランティアなど地域のためになることも含まれている。 ・全国には地域づくり団体というものがあり、交流している。一関にもたくさんの団体がある。 ・アンケートの結果、若者が働ける場所やデパート、道路の整備、福祉施設を求めていることがわかった。	A	・アンケートの結果から、若者の働く場所と高齢者が安心して住める市というのは私も同じ意見だ。	行政に望むこと	・福祉施設を作る。福祉にもっとお金をかけてほしい。（今は高齢化社会なので老人ホームなどの施設を増やしてほしい。そして、若者の仕事にもなる） ・一ノ関駅前や市の周辺部にデパートを建ててほしい。（人がもっとくるようになるし、一関を活性化させたいから） ・若者が働ける場所を増やしてほしい（今なかなか職に就けない若者が多いし、一関から離れていってしまう人がたくさんいたら、合併した意味がない。） ・一関をもっともっと活性化させ、駅前にもたくさんのお店などを増やしてほしい（客がきたほうが儲かるし、とても便利になるから。仕事も増える） ・学校をあまり統合しすぎないでほしい。（統合して良い点はたいさんあるが、少人数でも良いことやその学校の伝統や文化を壊したくない）
					B	・今のところまだ疑問点があるけれど、学校統合について詳しく書いていた。統合によって教育上とかにも関係があることを初めて知った。統合をそんなにして大変ではないのか。		
					C	・難しいものが多くてあんまり意味がわからないけど住民の声がよく書かれていた。		
					D	・みんなが福祉を必要としているのは、今の高齢化社会にとってはよいことだと思う。あとは働くところで大変だと思いました。でも、施設が増えれば仕事が増えるのはいい考えだと思いました。	住民に望むこと	・物を大切に。（公共物などが壊れると、金がかかり借金がどんどん増えてしまう） ・ゴミを道に捨てない。（ゴミが多いと、地域が汚くなり、住みたくなくなるから） ・たくさん行事に参加する。（市がせっかく開いている行事に参加しないとお金の無駄になる。地域づくりになるからよい）
					K	・花、鳥、木はわかったけど、どうしてそれになったのかを知りたかった。合併したらどうなるんだろう。		
					F	・弥栄中学校は給食にしなくてもいいと思う。でも、弥栄の食べ物を使ったりすれば安くておいしくなると思う。市全体だと広くて配るのが大変だし、冷めるのは早くて、まだ弁当のほうがいいと思う。		
					G	・一関より今は平泉のほうが有名で、きっと平泉のほうが客が多いのかなあと思った。	自分にできること	・地域づくりをする。ゴミ拾い。（きれいにすることで住みやすいし、環境にもよい。また、きれいだと汚しづらいからゴミも減る） ・公共物を大切に使う。（物が壊れるとお金を使い、借金が増えてしまうから） ・勉強（統合する前のチャンスを逃さず、いろんなことに挑戦する。高校に入りたくさん学ぶ）
					H	・やっぱりお金がやばいから合併するということに大変さが思われた。人口も減ってしまったから合併したけど、増えても今まで通りだと同じことなので何かしないといけないんじゃないかなあと思った。		
					I	・予算が一人あたりでとてもかかっているとわかった。借金も一人あたり67円もあり、どう返していくのかなあと思った。お金は難しい。		
					J	・ゴミは増えるけど、リサイクルで減るならいいと思った。物は大切に使った方がいいと思った。		

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	発表者	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと	条例に盛り込みたいこと	
9	・代表者の話し合いの場はどうなる ・市役所はどうなる ・学校の統合はあるのか ・ゴミが増える ・案内標識の変更 ・0191なのか ・中総体の進め方はどうなる ・新しい道路は ・住所は ・デパートは増えるのか	ゴミ問題について			A B C D E F G H I K	欠席	行政に望むこと 住民に望むこと 自分にできること	欠席
10	・条例は廃止？改正？そのまま？ ・郵便局の人はたいへんじゃないかな ・大会参加校が増えて優勝が少し遠くなる ・土地開発したり、道路開発したりして、家の移動をしなきゃならなくなるのかな ・今まで一関市に目を向けていない人が目を向けてたいへんになる。頼むからこっちにくるな ・今までの市町村長たちはどうなるの ・今までの議員はどうなるの ・音楽発表や独唱、英語暗唱、私の主張はどこでやるの？参加人数は増えるの？ ・学校の卒業式や入学式に出す手紙やあいさつなど市長がやることが今までより多くなるんじゃないかな	中学校統合について知ろう	インターネット、市役所の担当者から聞く	・現在中学校は、一関10，花泉1、大東4，千厩1、東山1，室根1の計19校。一関が6校になる予定なので、15校になる。 ・統合を進める理由として、小規模なままでは、切磋琢磨の機会があまりなく、自分たちの力が十分に出せないことが挙げられている。また、部の数が減り、選択の数が少なく、活気ある学校に支障をきたすことがあるかもしれない。 ・中総体についてはまだ詳しく決まっていないが、平泉、藤沢を含めた1市2町で県大会を争うことになる。 ・統合するすることで、今の弥栄中学校のように一人一人に応じたきめ細かい教育は難しくなるかもしれない。 ・統合後に自分の力をどう伸ばすかが課題だと思う。	A	・年代が上の人も若者が働くことを望んでいることがわかったし、それだけ働く場がないことや、働ける人が少ないことがわかった。もっと市が発展し、活性化すれば、もっと若者の働く場が増えると思う。	行政に望むこと	・福祉施設を増やして欲しい。（高齢化もあるし、またアンケートでもそのようにしてほしいと多くの人がいっていることがわかったので） ・レジャー施設をを作ってほしい。（レジャー施設を作って有名にすれば、他の県からも人が来るし、観光客の減少も防げると思う） ・デパートやいろんな店を駅まわりに作ってほしい。（友だちのアンケートでそうして欲しい人はいっぱいいたし、デパートを作ればそこで働ける若者が増える） ・大切なことは住民投票をしてほしい。（合併のこととかも住民投票してほしかった。そうすれば借金やいろんな問題ももっと考えることができると思う）
					C	・高齢化もあるので、福祉には新一関市になったついでにもっ力を入れてほしい。でも福祉ばかりではなく、娯楽や環境についても、せっかく合併したのだから、もう少しちゃんとした対策をとってもらいたい。		
					D	・福祉に金をかけるのは賛成。レジャー施設を建てるのも賛成。一関温泉郷っていわれるぐらいだから、温泉をもっと作っほしい。そうすれば老人のためになるしレジャーになるし、働ける人が多くなると思う。		
					E	・若者が中心になって、駅のまわりにデパートを作ったりすれば、活性化につながると思う。駅のまわりが寂しいと地元の人でも寄ってこないから、活性化できないと思った。	住民に望むこと	・もっと商店街を使ってほしい。（市を活性化したいなら自分から地元の店などを利用する。地元の人が利用しなければ、他の地域の人も利用しないと思うから） ・今の一関について知ってもらいたい。（住民が知っていれば自分は今何をすればいいか考える。そうしたら福祉にも活性化にもつながるから） ・観光地に少しでも行ってもらいたい。（地元の人が楽しめばそれがいろんなところに広がると思う。自分から観光地を広めてほしい。客の減少を減らせると思う） ・自分のもっているものを、地域活性化に生かしてほしい。（お金もかからず、新しいこともできるし、もしかしたら、他の県からも人が来て広まるかもしれない）
					F	・温かい給食は食べたいけど、センターでは季節のメニューなどがあまり期待できないから、中学校の給食には反対する。 でも小学校は必要だと思う。		
					G	・希望した人にしかパンフレットを配らないのはおかしいと思う。それじゃ観光の意味がない。もっといろんな人に観光のパンフレットを配るべきだ。それこそ、道の駅など駅周辺などで他の所から来る人に配るべきだと思う。		
					H	・合併しても若い世代の人たちが離れてしまっては、結局合併する前と変わらないと思う。そう思うと合併の意味ってあるのかなあと思ってしまう。	自分にできること	・もっと地元の店を使う。（自分たちが使わないと、他の人も来ないと思う） ・中学校が統合したら自分の力をどう伸ばすか。（学校が大きくなったら先生も一人一人見る機会が少なくなるから、自分の力は自分で伸ばさなければいけない） ・観光地を自分たちから勧める。（親戚や友だちに観光地を勧めれば、それが広がると思う。勧めるだけなら誰でもできるし、客の減少を止めることができると思う） ・自分たちが知っている伝統芸能などを使って、まず市民に見てもらう。（まず市民から伝統芸能を見てもらえば、うまくいけば地域の活性化につながるかもしれない）
					I	・新しいことを行わない気持ちはわかるけど、新しいことをしない限りはまとまった金が入らないのも事実だと思う。お金の話は難しいと思う。		
					J	・もう少し市はゴミのことについて考えて欲しいと思った。リサイクル率がたかくなっても、ゴミの量も増えればプラスマイナスゼロになると思う。		
					K	・市のマークは市民全体に伝わっていないから、市はもっとマークをPRしたほうがいいと思う。		

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと		条例に盛り込みたいこと	
					発表者			
11	・学校が多くなって、大会が2日間で終わるかな ・学校が多くなって、中総体で勝ち抜くのがたいへんになるから、各学校がレベルアップする。 ・議員の枠が小さくなる ・川崎の花火がなくなってしまう ・一関の花火がもっともっと大きくなる ・夏祭りがでっかくなる ・大きくなるから市長がたいへん ・地域を覚えるのがたいへんになる ・大きくなったせいで、疑問をすぐ否定されそう	一関市の借金	インターネット	・今、一関市の借金残高は約880億円。返すために行っていることは、新しい事を行わない。お金を使うのを減らすなど。 ・予算を一人あたりにすると、民生費〔75512円〕、公債費〔58486円〕、教育費〔55863円〕など。 ・借金を返すために借金をしていることがわかった。 ・毎年借金が増えていくので、新一関市になって、借金が減ればいいと思った。 ・市民一人あたり67万円なので、給料から1万円ずつ67回で払っていけばいいんじゃないかと思った。	A	・仙台と盛岡の間の都市になったら、一関市で働く人が多くなるし、仕事も増えてもっと発展した都市になるので良いことだ と思った。今の若い人たちが、一関市に残ってくれたら良いと思った。これから私たちが発展させていきたいです。	行政に望むこと	・子どもにもわかるような説明〔今は子どもでも、個々に住むのは自分たちだから、広報の子供版などを出して、今の一関を子どもも詳しく知ることができたらいいと思う〕 ・大町付近のまちおこし〔駅があるのになんか静かだから〕 ・今人気のブランドのショップの誘致〔ショップには今どきの若者たちが集まってきて、人が多くなると思う〕 ・学校の統合はあまりしない法が〔大きい学校だと自分一人がとても小さく無力だと感じるけど、小さい学校だと一人の存在が大きく、校内の話し合いでも、一人一人がちゃんと考えると思ったから〕 ・一人67万を払う〔借金返済〕
					B	・小さい方が詳しく勉強できるし、部活でも一人一人を信頼できて、自分一人の大きさを知ることができるので、あまり統合はしないほうがいいと思う。また、大きいところに統合すると 移動が大変だと思う。			
					D	・新一関の市民は年寄りだなあと思った。人口をもっと増やすために仕事をする場所を増やして欲しいと思った。そして、仙台と盛岡の中間の中核都市に。			
					E	・たぶんアンケートをとったのは弥栄の人だと思うから、市内の他の地域の人にも聞いてみたいと思った。 気付いたことで、老人が多くなるから、若い人が減っているのかなと思った。何で子どもが少ないんだろう。	住民に望むこと	・市で行う行事への参加〔全員またはおおよその市民が集まっているなかでアンケートをとれば、何を希望しているかわかるから〕 ・一関に関心を持つ〔自分の住んでいるところ自ら知ろうとして、全員が知ることができたら自信を持つことができる→全国放送のテレビ局がきたら→みんなで一関を自慢できる→テレビを見た人は、「そんなにたくさんいいところがあるんだ」→観光客ゲット
					F	・センター化になると、冷めているのが来て欲しくないし、車が来る途中で遅れたりしたら、お腹がへったり、時間が限られてくるので、あまりこのセンター化はして欲しくないと思いました。			
					G	・自分でも一関市の観光地のことをあまりよく知っていないので、行ってみたいと思ったし、新一関市になってもっともっと 活性化して欲しいと思った。義経ぐらいに。			
					H	・難しいけど理解できた。	自分にできること	・県外に就職せずに、一関で就職する〔少しずつ人が増えていき、一関が発展〕 ・男子も女子も介護士を一度は目指してみる〔少子高齢化で年寄りが多くなるため、若い人のほとんどが目指せば年をとった人もたいへんじゃない〕 ・募金する〔少子高齢化で年寄りが多くなり、車いすを買うお金を岩手県内、一関市内で集めれば、年寄りに使うお金は少し減ると思う〕 ・義経グッズ販売〔今なら売れる〕
					C	・日本では少子高齢化になっていることはしっていたけど、やはり身近な一関でも少子高齢化が起きているんだなあと思った。また、道の駅に県外の人が来ていることに驚いた。就職のことは私たちにかかわってくるので、そこは、市役所などに詳しく聞きたいと思った。			
					K	・一関のは微妙に知っていたけど、他の町や村のは知らなかったので、知ることができて良かったし、各市町村の木・花・鳥を知ってみたいと思った。			

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと		条例に盛り込みたいこと	
					発表者			
12	・中総体や新人戦の会場はどこになるの ・今までより優勝する確率が低くなる ・予算はどう分けられる ・教科書は一緒なのか ・住所が変わるところはたいへん ・大きくなって行き届かないところが出てくる ・一関の祭りがもっと大きくにぎやかになる ・バスなどの表示は変わるのか ・大きくなった分意見などが活発になる ・道路の案内標識が変わる	新一関市の観光地	インターネット、市役所の担当者から聞く	・毎年、一関市に来る観光客数は、減ってきているので、パンフレットなどで知ってもらいたいです。 ・合併してからの一関市として、いいところをたくさんの人にもっと知って欲しいです。 ・パンフレットは希望者だけにしか配られないので、みんなに配布するのもいいんじゃないかと思いました。そうすれば前より観光客が増えると思います。 ・少しずつでもいいから、年間の観光客が増えると、もっと一関市が活気よくなるといいと思います。	A	・課題を一つ一つ解決していくことはいいことだと思ったし、みんながどう思っているかがわかった。	行政に望むこと	・働く場所を作ってほしい。（今は働く場所が少なく、仕事をしようと思ってもできないから） ・各地域の行事はやってほしい。（今までやってきた行事をこれからも続けていけば、新一関市として楽しめると思うから） ・ホームや養護施設を増やしてほしい。（養護施設が増えれば働く場所も増えるし、高齢化社会でも安心できると思うから）
					B	・統合してからだと私たちのような人数の少ない学校は苦労するんじゃないかと思いました。 ・統合して旧一関市の学校が6校と少なくなるので、そのままのところもあっていいと思う。		
					C	・合併をすると隅々まで目が行き届かない部分がやっぱりあるんじゃないかなと思いました。		
					D	・福祉についてみんな考えているんだなと思いました。 ・働く場所がもっと増えればいいと思います。	住民に望むこと	・ボランティア活動を進んでしてほしい。（ボランティア活動をすることで地域がきれいになり住みやすくなるから） ・節約（お金がないので、節約すれば少しでもお金に余裕が持てると思うから）
					E	・私も住むなら中心部より周辺部のほうがいいと思いました。 ・デパートなどが増えると活気が出てくると思いました。		
					F	・私も栄養がしっかりしていて、新鮮な物を使って欲しいです。それに給食センター化にはちょっと反対です。		
					H	・合併が進められている理由がまずわかりました。それに私もみんなが安心して暮らせるようにして欲しいです。	自分にできること	・自分たちの力の伸ばし方（私たちのように人数の少ない学校の人たちは、どうすればいいのかがわからないと思うから）
					I	・ずいぶん一関市に借金があるんだなあと思いました。お金の使い途はあっても、借金を返すためにするのは大変だなあと思いました。		
					K	・花や鳥、木など各地域のことがわかった。でも合併後は何になるのかと思いました。		
					J	・ゴミの量が増えてきているけれど、リサイクルをしっかりやっているので、これからも続けていけばいいと思いました。		

番号	合併についての疑問点・問題点	個人テーマ	調べる方法	調べた結果	友だちが調べたことから学んだこと・感じたこと		条例に盛り込みたいこと	
					発表者			
13	・一つの行事の参加人数が増えてたいへんになる ・議員の数が減るので選挙が激戦になる ・川崎の花火がなくなるかもしれない。どうにかして毎年やってほしい ・中総体や新人戦がたいへんになり、県大会にいくチームが減ってしまう ・店舗の数が減るかもしれない ・中文祭や音楽会が半日ではおさまらないから、一日中になるかもしれない ・バスの運行経路とかが少し変わったりするのかな ・年賀状で一関市が多くなるから、分別箱を一つの郵便局に増やさなければいけない ・議会の議場を大きくしないとおさまらない ・学校の統合で先生の職が厳しくなるかもしれない	給食センター化について	インターネット、アンケート	・アンケート調査で多かった意見は、「地域の食材を使用することおいしい食事・あたたかい食事を運んで欲しい。栄養バランスと衛生面に気をつけて欲しい」が圧倒的でした。 ・特別行事献立が望めなくなる、大量生産になるので、多くのメニューを望めないなどの心配の声もあがりました。 ・確かに給食センター化になると、給食にかかる金は安くなるけど、栄養があって、できたての給食を作って欲しいし、なるべく地域の食材を使って欲しいと自分は思っています。	A	・たしかに今は若者の働けるところが少ない。しかし、それは若者にも問題があると思う。それは、すぐに辞めてしまうことだと思う。あと、経済が悪いので、人をあまり雇えないことだと思う。もとをたどれば人間が作った社会だから、人間たちで直していくべきだ。	行政に望むこと	・借金を返すのはいいけど、返した分以上にまた借りて借金を増やさないように気をつけてほしいです。〔返しても返した分以上に借りたら意味がないからです。返せる範囲で少しずつ返していった方がいいと思います〕 ・もっと住民の声を聞いてほしいです。〔行政だけで決めるのではなく、みんなのまちなので住民の声も聞いて、一つ一つの事を決めてほしいです〕 ・これからは市が大きくなるので、小さいことに目が届かなくなるかも知れませんが、そんなことがないようにしてほしいです。〔小さな事を無視してしまうと、バラバラになってしまって、まとまりが悪くなってしまうと思うからです〕
					B	・今後統合になると困ることがいっぱい出てきて、これから大変だと思う。特に中総体とか新人戦で県大会に出るのが大変になって、もっと部活を頑張らないといけないと思う。		
					C	・悪くなる点での、「隅々まで目が行き届かない」は私もそう思います。今までは細かいことまでやっていたかも知れないけど、今後は大まかに見てしまい、市民などがバラバラになってしまったら、それこそ大変だと思うからです〔まとまりが悪く なったら大変〕。		
					D	・老人ホームや養護施設を建てれば働く人が増えて良いと思います。大町など活気がないからレジャー施設をもっと多くすれば、活性化にもつながると思いました。でも金がかかる・・・。	住民に望むこと	・ゴミをどこだりに捨てないようにしてほしい。〔やはりきれいな町を目指すには、ゴミが捨ててあってはならないと思います〕
					E	・周辺部の活性化はあまりやりすぎると大変だと思います。自然が減っちゃうと、地球温暖化にもつながるからです。		
					G	・合併すれば、観光地が増えて、人がたくさん来ると思います。厳美渓とか猊鼻渓などがあるし、山も増えるからいいと思います。		
					H	・合併する理由が初めてわかりました。私は合併には反対だけど、ちょっと賛成してもいいかなと思いました。	自分にできること	・二十歳になったら必ず選挙に行く。〔今の社会の若者は、関心なしで行かないけど、これからは、若者の時代なので、できるだけ投票しに行った方がよいと思った〕 ・ゴミを拾う。〔住みよい町にするためきれいな市にすれば、他の県から来た人に気に入られると思ったから〕
					I	・こんなに借金があることを初めて知ってびっくりしました。借金を返すためにあまり新しい事を行わないのは残念だと思いました。でもこの意味のある合併なのだろうから、これからはそれで頑張ろうと思いました。市長も大変だと思いました。		
					J	・ゴミを減らすにはどうしたらいいんだろう？？私もリサイクルしようと思うけど、いざとなるとできないものです。今後の新一関市のはじからはじまでゴミを回収するのは大変だと思った。焼却炉は減るのかな？？		
					K	・東磐井郡の花は「ユリ」が多かったです。今度の新一関市になったときの鳥・花・木が楽しみです。		

【補充資料８】生徒が作った条例一覧

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
1	市民が市を守り、つくるまちづくり	・市民自らが市をきれいにして進めます ・市の目標、スローガンを達成を目指して進めます ・市の花､鳥､木を大切にして進めます ・地域の文化を大切にして進めます ・市民の意見を取り入れて進めます	・日頃から市の目標、スローガンを意識して、それをもとに生活します ・環境を考え、自らゴミ拾い、ゴミの分別を進めます	・各地区の文化を保護し、各地区の祭りや行事を継続します ・ゴミの分別箱の設置、ゴミ処理施設の建設を進めます ・市の花、木を育て、市の鳥の観察を進めます ・ゴミ処理施設の建設のことを考え、予算を立案します	・議会に一般市民を少数参加させ、市民の意見を大切にします ・行事や祭りのことを回覧板や掲示板で知らせ、多くの市民が参加できるようにします	・地域の行事に盛んに参加します ・道路や家の周りのゴミ拾い清掃を自主的に行います ・自分の地区の伝統や文化に興味を持ち、多くの人と触れあいます	・ゴミ処理場やリサイクルを身近に体験できる施設の建設をしてほしいです ・市の木や花で囲まれる道をつくるなど、市の花、鳥、木を市のシンボルとして強くアピールしてほしいです ・市民の声を大切にする市、市議会であってほしいです ・市民同士で触れあう機会を増やしてほしいです	・一関市のことについて調べたり、まとめたりして自分の地元を知らなかったなあと思いました ・７市町村が合併して、大きく、多くの人が住む「一関市」となり、自分で地元の自慢をできる大人になりたいです ・はじめはプリントだけで深い内容が学べるかと思っていましたが、考えた以上に多くのことを学べました
2	働く場所がたくさんあるまちづくり	・職場、店、企業などを増やすように進めます ・自然環境を大切にして進めます ・男女平等で進めます	・一人一人が働こうという気持ちを持ちます ・市全体が活気があり、豊かになるように働きます	・環境を壊さずに店を増やします ・人が住むところを増やします	・市の中心に行政が集中するのではなく、市全体のことを考えます ・個人の損得で判断するのではなく､市全体の利益を第一に考えます	自分はまだ働くことはできませんが、高校卒業後、しっかりと定年退職するまで仕事をして、豊かになりたいと思います そして早く市に貢献したいです	・市に店を増やして活性化させてほしい ・店を増やすことで自動的に、その店で働く人も増え、今まで職がなかった人や、これから社会に出る若者が、今までよりも就職できる人が増えます ・しかし、店を増やすにしても、あまり環境を壊さずに店を増やしてほしい	・今まで一関市とか地方自治体のこととかのことをあまり知らなかったけど、わかることができました。 ・一関市の合併についてもたくさん知れてよかったです
3	若者が多く残り、活気があり、魅力的なまちづくり	・市でも事業を始めて、働き手を増やすようにします ・働きたくないと思っている人を集め、「働くことについての講習会」をひらきます ・職に就いて間もない若者には、ベテランの人から指導を受けることを進めます	・働かない人を一関市から減らします ・働く人を増やして活気のあるまちにします ・しっかりとした意見を市の政治に出せようにします	・住民の声を聞き、工夫を凝らします ・市の就職誌などを回覧板やコンビニに配布します	・市民の声を討議し、討議した内容を市民に知らせます	・今自分と同じ世代にできることは、ポイ捨てなど、小さな悪いことから減少させなければ、自然豊かで活気のある一関市にはならないと思います ・自分の将来就きたい職業など人生設計をしておけば、将来的にニートの数を減少できると思います	市でも事業を始め、働く場所を提供してほしい 例えば、観光事業を興したら、うまくいけば利益が出ることになるし、その工事などで人に職を与えることになるから良いと思う	・政治のしくみや政治の在り方を知ることができました ・自分はこの学習で学んだことをしっかりと理解していきたいと思います

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
4	少子高齢の問題を改善し、だれもが充実し、幸せな生活を送れるまちづくり	・市民の目線に立って進めます ・幼児や高齢者のことを考え進めます ・障害のある人にも優しいバリアフリーを目指します	・日常の生活から高齢者や障害を持つ人、幼児などの手助けをします ・だれもが安心して暮らせる環境づくりに努めます	・現場の意見を取り入れて政治を行います ・市は介護・福祉や子育て支援を特に重視して政治をします ・市民の意見を重視した予算を編成します	・市議会は、各地区から代表者を呼び、市民の意見をり入れるようにします	私は、家族や近所の高齢者の人たちのことを考え、力になれるよう手伝いなどを頑張りたいと思います また、日頃から新聞、テレビを見たりして、市や県の政治に関心を持ちたいと思います	・市民の負担を減らすために借金を少なくしてほしい その上で、税金を安くしてほしい ・市政をわかりやすく公表してほしい ・もっと市民の声を聞いてほしい	・今まであまり考えたことがなかった地方の政治を考える良い機会だったと思います ・僕が感じたことは、インターネットなどで調べてみて、「こんなことをしてたんだ」と思い、市にもっと公表しろと言いたいです ・また、住民が考えていることと市の方針はけっこう違いがあるので、市長や議員も高い給料をもらっているのだから聞いてほしいです ・条例づくりで考えたことや決意などを無駄にしないように実行したいと思います
5	働く場所がたくさんあるまちづくり	・職場、店、企業などを増やすように進めます ・自然環境を大切にして進めます ・男女平等で進めます	・一人一人が働こうという気持ちを持ちます ・市全体が活気があり、豊かになるように働きます	・環境を壊さずに店を増やします ・人が住むところを増やします	・市の中心に行政が集中するのではなく、市全体のことを考えます ・個人の損得で判断するのではなく、市全体の利益を第一に考えます	自分はまだ働くことはできませんが、高校卒業後、しっかりと定年退職するまで仕事をして、豊かになりたいと思います そして早く市に貢献したいです	・市に店を増やして活性化させてほしい ・店を増やすことで自動的に、その店で働く人も増え、今まで職がなかった人や、これから社会に出る若者が、今までよりも就職できる人が増えます ・しかし、店を増やすにしても､あまり環境を壊さずに店を増やしてほしい	・この学習をとおして、自分たちの住んでいる地域の行政を知ることができた ・条例をつくるための調べ学習もけっこう楽しかったです ・始めのころは、難しくて嫌になることもあったけど、最後のほうは楽しく授業を受けることができました ・発表会では、同じクラスの人のいろいろな考えや意見を知ることができ、その人がどんな考えをもっているかわかった ・みんながせっかく調べたことなので、どうにかして市の役に立てたらいいと思った

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
6	安心して暮らせる、市の隅々まで目が行き届いているまちづくり	・市民の意見を優先して進めます ・自然をこれ以上減らさずに環境に配慮して進めます ・市民に負担をかけずに進めます	・まちの活性化のために、積極的に市の行事に参加します ・住みよいまちにするために犯罪のないまちに少しでも近づけるようにします	・みんなが安心できる住みよいまちにします ・市内のどこでも目が行き届くようにします ・市民の意見を聞きます	・私たち市民の意見を取り入れます ・みんなのこと、市民のことを思って話し合ったり、行動したりします	・地区のボランティアに参加する ・各行事に参加し、市内の人たちと交流する ・高齢者への気配りをする ・ゴミ拾いを積極的にする ・ポイ捨てをしない	・税金を安くしてほしい なぜなら、税金を安くしてほしいという市民の声があがっているから ・若者が働く場所をつくってほしい なぜなら、今どんどん若者が就職できなくなってきている時代だし、アンケートをとったところ、多くの人がそれを望んでいるから ・高齢者が安心して暮らせる市にしてほしい なぜならば、アンケートをとって60代以上の世代の人もそれを望んでいるし、30代、40代の人もこれからを考えれば、やっぱりそれが一番かなえてほしいことだから	・前まで一関のことに全然興味がもてなかったけど、条例づくりをやっていくうちに、ほんとに一関のことを考えるのが楽しくなってきました ・たいへんなこともたくさんあったけど、一生懸命やった分達成感があるなあと思いました ・もちろん自分の調べたことはちゃんとわかったけど、みんなの発表とかを聞いて、自分のだけじゃなくみんなの調べたことがわかってよかったです ・13とおりの考えを聞けてよかったし、そこから学んだこともたくさんあった
7	住民一人一人が安心して暮らせ、一関市全体に政治が行き届くまちづくり	・地域の文化を大切にして進めます ・住民の意見を取り入れて進めます ・福祉活動を活発にして進めます	・公共物を大切にします ・福祉活動に積極的に参加します	・市民が安心して暮らせるまちにします ・お金をどのように使っているか公表します	・市民の意見を取り入れます	私たちにできることは、地域の行事に参加したり、ゴミ拾いをすること	私は、今就職している人が少ないから仕事ができるようになってほしいと思います アンケートをとった結果として一番多く、たくさんの人が心配していることがわかりました また、今は高齢化社会なので福祉施設を建てて欲しいし、お年寄りに優しい制度をつくってほしいです アンケートをとったときも年齢に関係なくたくさんの人が関心を持っていました	・今まで政治について関心がなかったけど、今回調べて、一関市のことがわかり、新聞やテレビをみると意味がわかり、楽しかったです ・学んだことは、行政でやっている仕事や議会のしくみや議会の仕事がわかりました ・発表会をして、環境問題や市のマーク、借金などたくさんのことを考えることができ、自分たちが住んでいる一関市について理解することができました ・条例をつくると最初に聞いたときはできるかなあと思ったし、難しいと思ったけど、最後は今までのまとめとなるように条例がつくれてよかったし、今までより深く学ぶことができました

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
8	もっと活性化して、だれでも住みやすく安全であり、仕事もたくさんあるまちづくり	・自然を大切にして進めます ・高齢者にもわかりやすく進めます ・市民の意見も聞きながら進めます ・若者向けの仕事も考えながら進めます ・住みやすい町にするように進めます	・活発に意見を言います ・きれいな町にします ・自分の仕事は最後までやりとげます	・もっと一関を発展させます ・市民の声をよく聞きます ・若者の仕事を増やします ・安全に生活できるようにします ・まちづくりのためにもっとお金を使います	・市民の意見を取り入れます ・だれでも住みやすく活性化したまちについて話し合います	私は、まちづくりは自分の身のまわりから始めていきたいです ボランティアや、ゴミ拾いと地域のためになればいいと思います 全体にその活動が広がって地域がきれいになると思います そして、普段から水の無駄使い、電気のつけっぱなしなどをせず、美しい一関の環境を守っていきたいです	私は一関市をもっと活性化させなければならないと思います 具体的には、大きくても仕事がない今のままだと、若い人はみんな一関から離れてしまい、合併の意味がないと思います また、高齢者も多いので、もっと住みやすくしたほうがいいと思います だから私は、一関の中心部や駅前にデパートを建てる、周辺部にも大きな店や娯楽施設をつくる、そして、全体には交通整備をする、を提案します 他にも、老人ホームの建設やバリアフリー化の推進がなど高齢者のための政治を行ってほしいです	・公民は難しい感じがしていたけど、調べ学習や授業で楽しく理解することができました ・この授業で、最近政治のニュースがわかるようになりました ・調べ学習のとき、市のことを調べて、これからの市について初めていろいろ考えさせられました ・自分でも思っていないくらい、これからの一関市にとても興味をもちました
9	自然豊かで、ゴミや汚れのない環境を一人一人が考え、よりよいまちを自分たちでつくっていくまちづくり	・自然環境を大切にして進めます ・環境をよくすることを考えて進めます	・ゴミや廃棄物を必要以上に出しません（捨てません） ・市の自然や環境を大切にします ・これからの一関市を考えていきます	・リサイクルセンターを充実させます ・リサイクルショップを充実させます ・環境に対して市民にもっと呼びかけます	・環境に対してもっと真剣に考えてほしい	・ゴミを捨てません ・環境についてもっと考えていきます ・呼びかけをしていきます ・無駄遣いしません	市には、借金を減らすことやゴミの増加の問題など、もう一度考えてほしいと思いいます 対策を立てることにより、確実によりよい方向に新一関市が進むことができるとおもいます	・今まで市のことはよくわからなかったし、興味もありませんでした。 ・市のことを調べ、まとめ、新しい条例を考えることは、すごく難しかったです ・でも、調べてみて、自分の知らないところで、こんなことが話し合われていたり、決まったりしていると知ったとき、感心したり、不思議に思ったり、反対したりと、自分が一関市の市民であることを改めて知りました ・自分が真剣に市の条例を考えていることに、自分でも驚きました

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
10	活気があり、市民や観光客に優しいまちづくり	・自然環境を大切にして進めます ・市民の要望を尊重した上で進めます ・市の伝統を生かしながら進めます ・問題点の対策を立てた上で進めます	・積極的に地元の商店街などを利用します ・今の伝統を大切に伝えていくことをします ・観光地の良いところを広めることをします	・商店街などの地元の店のPRをします ・伝統を伝える場を作ることをします ・観光地のPRをします	・各地区の伝統を守ることをします ・観光地の自然が壊されないよう、今の自然を守ることをします ・新しいことに挑戦する話し合いをします	新しい市のために、なるべく地元の商店街を利用したいです また、観光地は自分も利用できるし、自分が感じたことをいうだけでも観光地のPRになります ゴミをなるべく出さないのも自然のためになると思います 伝統は私たちにも伝わっているので、それを忘れずに伝えていきます	・調べ学習のなかで、福祉、レジャー施設を建ててほしいという人が多くいたので建ててほしい ・市はもっと市民に情報を知らせてほしいです そうすれば市民がもっと市のことを考え、何をするべきか一人一人考えることができます	・今まで市のことはよくわからなかったし、興味もありませんでした。 ・市のことを調べ、まとめ、新しい条例を考えることは、すごく難しかったです ・でも、調べてみて、自分の知らないところで、こんなことが話し合われていたり、決まったりしていると知ったとき、感心したり、不思議に思ったり、反対したりと、自分が一関市の市民であることを改めて知りました ・自分が真剣に市の条例を考えていることに、自分でも驚きました
11	市民全員が、一関市のことを理解している	・大人から子どもまで全員が理解できるようにして進めます ・子どもの意見も聞いて進めます	・一関市の話し合いには、進んで参加します	・大人だけでなく、中学生や高校生にも、市の政治のことをわかってくれるようにします ・借金を増やしていくのではなく、減っていくようにもっともっと頑張ります ・若者が一関市に残って就職できるようにします	・決定したことは中学生にもわかるようにします ・一人一人の意見を聞いて、それについての回答を何かの形に表して市民に伝えます	・「新一関市」を今よりもっと理解して、市の動きがわかるようにしたい ・インターネットなどでたまには市のホームページを見たりする でも、ホームページを見ても難しい言葉などがあり、理解できないので、まずは勉強して頭を良くしようと思う ・議会と同じように中学校の生徒会でちゃんと生徒の事を考えて仕事をしていきたい そうすれば議員の人の気持ちがわかると思うから	・一関市について、市民がちゃんとわかっているようにしてほしい ・大人はわかっているかも知れないけど、子どもや中高校生は全然わかっていないので、子供版の広報もみたいなのを出して、子どもも市のことをわかるようにしてほしい ・すごく子どもが理解するのは、難しいと思うけど、将来は私たちがつくっていく「一関市」なので、少しでも多く知識を持っておけば、もっと発展していくと思う ・借金を増やさないように、あまりお金を借りずに、返済のほうに頑張ってもらい、50年後にはあと一踏ん張りぐらいになるように借金を減らしてほしい	・すごく難しかった ・でも、調べ学習とかして、一関のことをまったくわからなかったのに、お金のこともわかるようになりました ・借金について調べられてよかったし、新一関市になって借金がどうなるのかまで調べたかったです ・公民のほうでは、まだよくわからないところがあるけど、自分から進んで勉強すればここまで知ることができるんだと思いました ・まだわからないところを進んで調べたいと思ったし、今回の調べ学習みたいにした、各教科の勉強も進んで取り組んでいきたいなあと思いました

番号	願い	基本原則	市民の役割	市の役割	市議会の役割	私ができること	要望	学習を終えての感想から
12	みんなが安心できるまちづくり	・高齢者のことを考えて進めます ・自然を大切にするためにボランティアを進めます ・みんなで助け合い、触れあう機会を大切にして進めます	・ボランティア活動を積極的にする ・市の行事などを積極的に行って交流をもつ	・市はどういう政策を行っているかを公表します ・市はお金の使い途はどうなっているかを公表します	・市民の考えていることを、議会で発表してもらい、市民の意見を取り入れます ・市のことを把握して、解決策をを話し合います	・ゴミ拾い（ボランティア活動）や、交流会、行事などに積極的に参加する	・各地域の伝統の行事など続けてほしい ・新一関市としての観光地のパンフレットを市民に配布して、みんなに配布して、一関市を知ってほしいです	・政治のことは、最初はよくわからなかったけど、前よりも自分の市、県のことを知ることができました ・条例づくりをして、考えたり調べたりするのはたいへんでした ・でも、知らなかったことがわかることができてよかったと思います ・前はニュースを見ても、「へぇ～」とした思わなかったけど、今は考えるようになりました ・そしてこれから一関市がどのように変わっていくのか興味があります
13	住民の声と行政の声を交ぜながら、一つ一つのことを決めていって、みんなでつくるまちづくり	・今ある自然を大切にして、できるだけ自然をなくさないことを進めます ・住民の声を取り入れながら、物事を決めるように進めます ・ゴミがないきれいなまちづくりを進めます ・福祉を充実させるように進めます	・積極的に市の政治に参加して、みんなで話し合いをします ・ゴミのポイ捨てをしないようにします そして、自然があるきれいなまちにします ・おじいさん、おばあさんを大切にします	・市民の意見をしっかり取り入れてまちづくりを推進します ・住みよいまちをつくります	・議員は市民を第一に考えて議会で発言します ・有言実行を心がけます ・小さなことにも目を向けます	・ゴミ拾いをします ・できるだけリサイクルを心がけます ・自然を大切にします ・意見をはっきり言います	私は給食センターについて調べました 給食のセンターが実施されて、給食にかかるお金は安くなっても、栄養があって新鮮な食材をつかった給食をつくってほしいです また、地域の食材を使ってほしいです 季節行事があるときには、少し豪華にしてほしいです 栄養士が少ない人数でやるということは、あまり手の込んでいない給食になるのは嫌です	・今まで一関のこと（行政）がわからなかったけど、今回調べてみてわかったのでよかったです。 ・また、調べたことによって、それに対しての自分たちの意見を持てたし、市に私たちの考えを伝えることができるのでよかった ・調べたことを親にも見せたら、「なるほど」など、親さえわからなかったことがわかった ・最初これをやるのに、できるかどうかかなり不安だったけど、最後までやり抜くことができてよかった